

秘 書 課

○ 表彰関係

市の発展又は公共の福祉の増進に貢献した方、広く市民の模範となる行為をした方を伊勢市表彰条例に基づき第 19 回の表彰を次のとおり行った。

1 伊勢市民功労賞

- ・ 多年市議会議員として地方自治の振興に寄与された（４名）
- ・ 多年自治会長として地域社会の発展のために尽力された（２名）
- ・ 多年青少年の非行防止・健全育成に尽力された（１名）
- ・ 多年パラスポーツの普及啓発や障がい者の社会参加の推進に尽力された（１名）
- ・ 多年国際親善交流に尽力された（１団体）
- ・ 多年農業委員会委員として地域農業の発展及び農業経営の向上に寄与された（２名）
- ・ 多年介護保険推進協議会及び地域包括ケア推進協議会の会長として社会福祉の向上に寄与された（１名）
- ・ 多年消防団活動に献身奉仕され郷土防災と消防行政推進に寄与された（７名）
- ・ 多年明るい選挙推進協議会委員として有権者の政治意識高揚と投票率向上のため選挙啓発活動に尽力された（１名）
- ・ 多年情報公開審査会委員として情報公開制度の適切な運用に尽力された（１名）
- ・ 地域社会の発展に思いをいたされ育英基金に多額の御寄附をされた（１名）
- ・ 地域社会の発展に思いをいたされ公益のために多額の御寄附をされた（３団体）
- ・ 地域社会の発展に思いをいたされ子どもの貧困対策支援に多額の御寄附をされた（１団体）
- ・ 地域社会の発展に思いをいたされ伝統文化行事の継承のために多額の御寄附をされた（１団体）

2 伊勢市民文化賞

- ・ 第 24 回大阪国際音楽コンクールで優秀な成績を収められた（１名）

3 伊勢市民スポーツ賞

- ・ BWF ワールドツアー・スペインマスタース 2023 で優秀な成績を収められた（１名）
- ・ 2023 年度全日本学生テニス選手権大会で優秀な成績を収められた（１名）
- ・ UCI 世界選手権大会で優秀な成績を収められた（１名）
- ・ 燃ゆる感動かごしま国体で優秀な成績を収められた（１名）
- ・ JOC ジュニアオリンピックカップで優秀な成績を収められた（１名）
- ・ JDC 全日本オープンプロフェッショナル 10 ダンス選手権大会で優秀な成績を収められた（１名）
- ・ 2023 年度全日本アマチュアキックボクシング選手権決勝大会で優秀な成績を収められた（１名）
- ・ 多年中学校陸上競技部の外部指導者としてスポーツの振興に寄与された（１名）
- ・ 多年美し国三重市町対抗駅伝の伊勢市代表選手としてスポーツの振興に寄与された（１名）

4 表彰式

- ・日時 令和6年11月2日(土) 10時00分～
- ・会場 伊勢市生涯学習センターいせトピア 多目的ホール

○ 栄典に係る推薦事務

憲法第7条第7号に基づく栄典の授与に関する推薦事務を行い、次のとおり決定を受けた。

- ・旭日双光章 元市議会議員(地方自治功労)
- ・従六位 元市議会議員(地方自治功労)

○ 市長会関係

全国、東海及び三重県の各市間の連絡協調を図り、市政の円滑な運営と進展に資し、地方自治の伸展と興隆繁栄に寄与するため、全国市長会、東海市長会及び三重県市長会に加盟している。

令和6年度については、全国市長会議通常総会、東海市長会第138回及び第139回通常総会へ出席した。また、三重県市長会は定例会議へ出席した。

1 全国市長会

開催年月日	会議名(主な議題)	開催地
6.6.12	第94回全国市長会議通常総会 令和4年度全国市長会決算報告について 令和6年度全国市長会予算承認について 各支部提出議案審議経過及び結果報告について 決議案審議 役員改選	東京都 千代田区

2 東海市長会

開催年月日	会議名(主な議題)	開催地
6.5.16	第138回東海市長会通常総会 令和5年度東海市長会会務報告について 令和5年度東海市長会歳入歳出決算の認定について 令和6年度東海市長会歳入歳出予算について 提出議案の審議 決議案の審議 役員改選	愛知県 小牧市
6.10.10	第139回東海市長会通常総会 提出議案の審議 決議案の審議	三重県 鈴鹿市

3 三重県市長会

開催年月日	会 議 名(主な議題)	開催地
6. 5. 2	三重県市長会 5 月定例会議 令和 6 年度三重県市長会役員等の選任について 三重県市町総合事務組合副管理者候補の推薦について 三重県市町村振興協会評議員並びに理事及び監事候補者の推薦について 会務報告について	津 市
6. 7. 30	三重県市長会 7 月定例会議 令和 5 年度三重県市長会歳入歳出決算について 令和 5 年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出決算について 令和 7 年度乳児健診等の単価について 令和 7 年度に向けた三重県への要望について 第 139 回東海市長会通常総会要望議案等について 各団体からの市長会への要望等について (ジェンダー平等社会実現を求める要請書について、地方の実態と自主性を尊重した給与制度を求める要請書について、平和行政推進に関する要請書について、原爆死没者慰霊並びに平和祈念の黙とうの周知方について) 市長会の会務報告について	津 市
6. 10. 30	三重県市長会10月定例会議 令和7年度三重県市長会歳入歳出予算について 令和7年度三重県軽自動車税等事務共同処理協議会歳入歳出予算について 三重県市町村職員共済組合会議員選挙について 三重県後期高齢者医療広域連合広域連合長候補者の推薦に係る協議方法について 各団体からの市長会への要望等について (自治労三重県本部からの要請について) 市長会の会務報告について	津 市
7. 2. 3	三重県市長会 2 月定例会議 三重県軽自動車税等事務共同処理協議会業務委託契約について 令和7年度三重県市長会役員等の選任について 第140回東海市長会提出議案の取扱いについて 市長会への協力依頼について 市長会の会務報告について 今後の市長会日程について	熊野市

デ ジ タ ル 政 策 課

市民サービスの向上 （款）2．総務費（項）1．総務管理費（目）6．デジタル化推進費

1 行政手続きのオンライン化の推進

市民サービス向上のため、行政手続きのオンライン化に取り組み、113 件（令和 7 年 3 月 31 日現在累計数）の手続きがオンライン化されている。

（１）グラファースマート申請

- ・利用期間：令和 3 年 12 月 1 日～令和 6 年 11 月 30 日（長期継続契約）
- ・支 出 額：2,904,000 円（令和 6 年度分）

（２）LoGo フォーム

- ・利用期間：令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
- ・支 出 額：2,758,800 円

2 LINE を活用した行政サービスの推進

伊勢市 LINE 公式アカウントを活用し、市民サービスの向上に取り組んだ。

（１）GovTech Express サービス利用

- ・利用期間：令和 5 年 4 月 1 日～令和 8 年 3 月 31 日（長期継続契約）
- ・支 出 額：2,534,400 円（令和 6 年度分）
- ・登録者数：33,090 人（令和 7 年 3 月 31 日現在）
- ・新たに開始したサービス（令和 6 年度分）

道路・公園損傷通報、伊勢まるごと博物館スタンプラリー、公共交通案内チャットボット

○ 組織運営の効率化 （款）2．総務費（項）1．総務管理費（目）6．デジタル化推進費

1 RPA の活用

RPA（定型的なパソコン操作をソフトウェアで自動化する仕組み）を活用し、定型的な業務の効率化に取り組んだ。

（１）RPA ソフトウェアライセンス購入

- ・利用期間：令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
- ・支 出 額：829,400 円
- ・活用実績：7 課 34 業務（削減時間数：2,408 時間）

2 AI-OCR の活用

AI-OCR（高精度に帳票を読み取りデータ化する技術）を活用し、大量の紙データの電子化業務の効率化に取り組んだ。

（１）LGWAN-ASP 版 AI-OCR サービス利用

- ・利用期間：令和 5 年 6 月 1 日～令和 6 年 5 月 31 日（長期継続契約）

- ・支出額：214,500 円（令和 6 年度分）
- ・利用期間：令和 6 年 6 月 1 日～令和 7 年 5 月 31 日（長期継続契約）
- ・支出額：1,050,500 円（令和 6 年度分）
- ・活用実績：11 課 22 帳票（削減時間数：1,030.5 時間）

3 チャットツールの活用

チャットツールを導入し、庁内や自治体間での情報共有の効率化を進めた。

また、チャットツール上で利用できる生成型 AI 機能を追加し、職員の業務効率化を図った。

（１）LoGo チャットサービス利用・LoGoAI アシスタントサービス利用

- ・利用期間：令和 6 年 4 月 1 日～令和 7 年 3 月 31 日
- ・支出額：5,876,640 円
- ・利用内容：1,340 ユーザ 500 万文字（GPT-4o）

○ 地域課題の解決（款）2．総務費（項）1．総務管理費（目）6．デジタル化推進費

1 スマートシティ伊勢推進協議会の運営

スマートシティ伊勢推進構想の実現に向けて、「スマートシティ伊勢推進協議会」において、地域課題の解決に取り組んだ。

（１）農業・漁業部会及び医療・福祉部会の設置

- ・設置日：令和 6 年 6 月 28 日

（２）先進地視察

医療・福祉部会で、鳥羽市が行っている離島やへき地などの遠隔地でのオンライン診療の現地視察を行った。

- ・視察日：令和 6 年 8 月 1 日
- ・視察場所：鳥羽市保健福祉センター

（３）生成 AI の業務活用セミナーの開催

市民や市内事業者を対象に、生成 AI の業務での活用を目的としたセミナーを開催した。

- ・開催日：令和 6 年 10 月 28 日
- ・開催場所：伊勢商工会議所 4 階 中ホール
- ・参加者数：50 人

（４）推進ロゴマークの作成

スマートシティを推進するために作成する資料や周知物に統一的なマークをつけることで、広くスマートシティを推進していることを印象付け、地域が一体となって取り組む機運を醸成するため、伊勢のスマートシティを象徴するロゴマークを作成した。

- ・委託期間：令和 6 年 10 月 8 日～令和 7 年 1 月 31 日
- ・支出額：99,990 円

2 デジタルデバイド対策

デジタルデバイド解消のため、高齢者等を対象としたスマートフォン教室の開催及び相談窓口の設置を行った。

(1) スマートフォン教室の開催及びスマートフォン相談窓口の設置

- ・ 契約期間：令和6年3月21日～令和7年3月31日（債務負担行為）
- ・ 支出額：3,297,745 円
- ・ 開催実績（スマートフォン教室）：開催回数 31 回 参加者数 274 人
（一般枠 164 人、団体枠 110 人）
- ・ 開催実績（スマートフォン相談窓口）：開催日数 8 日 相談者数 39 人

(2) オープンデータの推進

行政の透明性・信頼性の向上等を目的として、市が保有するデータを二次利用可能なルールのもとで公開し、データの充実と利活用の推進に取り組んだ。

伊勢市オープンデータライブラリ

登録データ件数 44 項目 1,874 件（令和7年3月31日現在）

宇治山田商業高校情報処理科との連携

宇治山田商業高校情報処理科の生徒が、自分たちで収集した情報とオープンデータを活用し、地域課題の学習成果を市長に報告した。

(3) 外部人材の活用 （款）2．総務費（項）1．総務管理費（目）4．人材育成推進費

スマートシティを推進するため、引き続き総務省の地域活性化起業人制度（企業人材派遣制度）を活用して知識・ノウハウを有する人材1人の派遣を受け入れた。

地域活性化起業人制度による派遣に関する協定

- ・ 協定締結先：日本電気（株）
- ・ 協定期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日
- ・ 支出額：5,688,366 円

外部人材の主な取組

- ・ スマートシティ伊勢推進構想の実現に向けた支援
- ・ 各課が抱える課題を解決するための企画・立案の支援
- ・ 人材育成カレッジ【企画・立案に関する職員向け研修】の開催 など

○ 行政 DX の推進 （款）2．総務費（項）1．総務管理費（目）6．デジタル化推進費

1 伊勢市デジタル行政推進ビジョンに基づいた各施策の推進

「伊勢市デジタル行政推進ビジョン」に基づいて行政 DX を推進した。各施策の効果を検証し、進捗具合に応じて成果指標の見直しなどを行った。

2 伊勢市デジタル推進本部ワーキンググループの運営

全庁横断的にデジタル化を推進していくため、5つのテーマ別ワーキンググループを設置し、

各テーマについて検討した。

令和 6 年度のテーマ

・デジタル戦略、こどもデータ連携、庶務担当業務効率化、窓口のあり方、公開型 GIS

3 職員のデジタルリテラシーの向上

(1) 研修会の開催

デジタル政策課が推進する DX 施策の理解を深め、さらなる行政 DX 推進を図るため、研修会を開催した。

No	研修内容	対象者	回数	受講者数
1	デジタル推進員向け研修 (行政 DX の取組やツールについて)	各課 デジタル推進員	回 1	人 69
2	消防本部における災害調査用ドローン 活用勉強会	職員	1	17
3	DX マインドセット研修	所属長・主事級職員	7	224
4	LoGo フォーム利活用研修	職員	2	26
5	生成 AI の業務活用セミナー	市民・市内事業者等	1	50

(2) 外部研修への参加

デジタル人材の確保・育成を推進するため、8 月 20 日から 23 日にかけて自治大学校（東京都立川市）で実施された「令和 6 年度 デジタル人材確保・育成特別セミナー」にデジタル政策課職員 1 人が参加した。

(3) 職員のデジタルリテラシー向上

職員のデジタルリテラシー向上が求められていることから、地方公共団体情報システム機構（J-LIS）が主催するリモートラーニングの受講を促し、自治体 DX や ICT に関する基礎知識、情報セキュリティや個人情報保護の意識の向上及び IT パスポート資格を取得に向けた知識習得のための講座を、職員 205 人（会計年度任用職員を含む）が受講した。

○ 情報システム関係 （款）2．総務費（項）1．総務管理費（目）6．デジタル化推進費

1 三重県・市町 DX 推進協議会及び外部専門家支援事業への参加

三重県と県内市町間の連携を強化し、行政における DX の推進と社会全体の DX の推進を図ることを目的に設置されている、三重県・市町 DX 推進協議会に参加した。

また、（公財）三重県市町村振興協会が実施している外部専門家による支援事業に参加し、自治体システムの標準化・共通化に関する情報収集等を行うとともに市町間の情報共有を図った。

2 伊勢市システム管理・セキュリティ委員会の開催

情報システム及びネットワークシステムの整備・管理に関すること並びにサイバーセキュリティの確保を図るため、藤本副市長を委員長とした、伊勢市システム管理・セキュリティ委員会を設置している。

令和 6 年度は、委員会を 15 回開催し、31 案件についてシステム更新等における競争性の確保

を基本に置きながら、各課業務の効率化やサービス向上、システムの安定稼働を念頭に適正な仕様内容等を検討した。

3 自治体情報システムの標準化・共通化対応

標準化法に基づく「地方公共団体情報システム標準化基本方針」にて、地方公共団体は令和7年度末までに住民記録や税関連等の基幹系 20 業務について、標準化基準に適合する基幹業務システムに移行することが求められている。

令和6年度は、令和5年度に決定した調達方式に基づき、事業者との標準システム導入移行に係る業務委託契約締結に向けた仕様書等の調整を図り、標準化対象 20 業務のうち 19 業務のシステム導入移行等に関する契約締結を行った。

また、対象となる 20 業務を担当する 12 所属における標準システム移行への対応状況について、進捗管理を行った。

(1) 伊勢市総合住民情報システム標準化対応業務委託

- ・契約期間：令和7年2月25日～令和8年1月16日（債務負担行為）
- ・契約額：305,350,133 円（令和6年度支出額は0円）

4 システム導入・更新関連業務

(1) 事務用端末等の更新

事務用端末等の OS である Windows10 のサポート期間終了に対応するため、端末設定業務を含めて入替用にノート型パソコン 690 台の調達を行い、主に本庁舎の事務職員、全庁の技術職員の端末を更新した。また、令和7年度での入替に向けて、ノート型パソコン 155 台の調達を行うとともに、債務負担行為により合計 455 台のノート型パソコンの調達契約を行った。併せて、オフィスソフト（文章作成、表計算等ソフトウェア）もサポート期間終了を迎えることから、オフィス互換ソフト 620 ライセンスを調達した。

事務用パソコン

(ア) ノート型パソコン（事務用） 690 台（注）

- ・契約期間：令和6年7月3日～令和6年12月20日
- ・契約額：79,640,000 円（注）

（注）教育研究所からの配当替分を含んだ台数及び金額。

デジタル政策課分は 580 台、67,500,070 円。

(イ) ノート型パソコン（インターネット用） 120 台

- ・契約期間：令和6年10月9日～令和7年3月21日
- ・契約額：13,640,000 円

(ウ) ノート型パソコン（管理職事務用） 35 台

- ・契約期間：令和6年12月18日～令和7年3月11日
- ・契約額：5,969,700 円

(エ) ノート型パソコン(事務用) 410 台

- ・ 契約期間: 令和 6 年 12 月 18 日 ~ 令和 7 年 7 月 31 日 (債務負担行為)
- ・ 契 約 額: 45,980,000 円 (令和 6 年度支出額は 0 円)

(オ) ノート型パソコン(災害対策本部等用) 45 台

- ・ 契約期間: 令和 7 年 3 月 19 日 ~ 令和 7 年 7 月 31 日 (債務負担行為)
- ・ 契 約 額: 5,489,000 円 (令和 6 年度支出額は 0 円)

オフィス互換ソフト 620 ライセンス

- ・ 契約期間: 令和 6 年 7 月 31 日 ~ 令和 6 年 9 月 6 日
- ・ 契 約 額: 13,094,400 円

(2) 公共施設予約システムの更新

一部の公共施設の予約等の管理を行っている公共施設予約システムが令和 6 年度末で契約期限を迎えることから、令和 5 年度に設置したワーキンググループでの検討結果に基づいてシステムの更新を行った。

伊勢市公共施設予約システム更新業務委託

- ・ 契約期間: 令和 6 年 10 月 1 日 ~ 令和 7 年 3 月 31 日
- ・ 契 約 額: 4,785,000 円

(3) ネットワーク用通信回線の更新

本庁舎と出先施設間用の行政情報ネットワーク用の回線として利用している、西日本電信電話(株)提供のフレッツ ADSL のサービスが終了することから、同サービスを利用している佐八小学校、上野小学校、伊勢市車庫及び伊勢市水防倉庫においてサービスの代替となる他社提供の光回線を新たに調達し、通信回線を更新した。

伊勢市行政ネットワーク用通信回線調達(佐八小学校ほか 1 校)

- ・ 契約期間: 令和 6 年 8 月 1 日 ~ 令和 6 年 8 月 30 日
- ・ 契 約 額: 225,500 円

伊勢市行政ネットワーク用通信回線調達(伊勢市車庫及び伊勢市水防倉庫)

- ・ 契約期間: 令和 6 年 8 月 1 日 ~ 令和 6 年 12 月 16 日
- ・ 契 約 額: 1,485,000 円

(4) 行政情報ネットワークの無線化対応

本庁舎及び 3 総合支所、健康福祉ステーションにおいて本市行政情報ネットワークの無線化を行うため、整備に必要となる無線機器等の調達、設定と施設内の LAN ケーブル敷設を実施し、無線化対応した。

無線アクセスポイント 41 台

- ・ 契約期間: 令和 6 年 7 月 17 日 ~ 令和 6 年 8 月 19 日
- ・ 契 約 額: 5,212,680 円

PoE 対応スイッチングハブ 26 台

・ 契約期間：令和 6 年 9 月 18 日～令和 6 年 9 月 25 日

・ 契 約 額：706,420 円

伊勢市行政ネットワーク無線機器設定業務委託

・ 契約期間：令和 6 年 11 月 15 日～令和 6 年 12 月 25 日

・ 契 約 額：1,078,000 円

伊勢市役所本庁舎ほか LAN ケーブル配線等業務委託

・ 契約期間：令和 6 年 10 月 9 日～令和 6 年 12 月 20 日

・ 契 約 額：1,152,800 円

(5) 内部情報系システム更新検討

現在の内部情報系システム（財務会計システムや文書管理システム等の業務システム群）は令和 7 年度から 8 年度にかけて契約期限を迎えるが、システム更新による庁内事務への影響が大きいことから、伊勢市にとってより良いシステムを導入・運用するため、各業務システムの所管課で構成するワーキンググループを設置し、現状の把握やシステム提供事業者によるデモ開催、課題の整理等を行うとともに調達方法の検討等を実施し、更新方針を取りまとめた。

5 システム改修・法制度改正対応等関連業務

(1) 社会保障・税番号制度（マイナンバー制度）への対応業務

社会保障・税番号制度対応にあたり、令和 6 年 6 月版のデータ標準レイアウトの変更に伴う、システム改修の対応を行った。

伊勢市総合住民情報システム改修業務委託（令和 6 年 6 月社会保障・税番号制度データ標準レイアウト改版対応）

・ 契約期間：令和 6 年 4 月 24 日～令和 6 年 7 月 31 日

・ 契 約 額：1,651,650 円

(2) 会計年度任用職員の勤勉手当対応（職員課執行）

地方自治法の一部改正に伴い、令和 6 年度よりパートタイム会計年度任用職員に対し勤勉手当の支給が可能となり、これに対応するために、人事給与システムにおいて必要となるシステム改修を行った。

人事給与システム改修業務委託（会計年度任用職員に対する勤勉手当の支給）

・ 契約期間：令和 6 年 3 月 14 日～令和 6 年 7 月 31 日（債務負担行為）

・ 契 約 額：1,851,300 円

6 セキュリティ対策関係

(1) 情報セキュリティポリシーの改定

伊勢市情報セキュリティポリシーについては、平成 20 年に独自の形式にて策定後、総務省策定の「地方公共団体における情報セキュリティポリシーにおけるガイドライン」に基づき

適宜改定を行ってきたが、より情報セキュリティの実効性を高め、かつガイドライン改定時に市のポリシー改定を容易に行えるようにするため、ガイドラインに準じた形式にするよう市のポリシー改定に向けた作業支援を委託した。

伊勢市情報セキュリティポリシー改定支援業務委託

・契約期間：令和6年9月11日～令和7年3月14日

・契約額：2,497,000円

(2) 情報システム等に関するセミナーの受講

地方公共団体情報システム機構(J-LIS)が主催する情報システム担当者向けに開催された、情報セキュリティマネジメント、プロジェクト管理、BPR実践、データ利活用に関する4セミナーをデジタル政策課職員4人が受講し、情報システム等に関する知識の向上を図った。

(3) eラーニング等の研修受講

総務省が主催する、情報連携の仕組みやセキュリティ対策に関するWeb形式の研修について、マイナンバー取扱事務担当者を中心に計72人が受講し、適切な取扱い方法等に関する知識の向上を図った。

(4) サイバー防御演習の受講

情報システム管理者としてのサイバーインシデント対応能力の向上を図るため、地方公共団体向けに国立研究開発法人情報通信研究機構ならびに総務省が提供する実践的サイバー防御演習(CYDER)(初級コース)をデジタル政策課職員1人が受講した。また、ブレCYDER(基礎コース)を情報システム担当職員8人全員が受講した。

(5) 特定個人情報取扱に係る監査の実施

特定個人情報を利用する所属における安全管理措置の一環として、総務課とデジタル政策課にて、計画に基づいて上半期に高齢・障がい福祉課、健康課、福祉総務課、下半期に生活支援課、3総合支所の生活福祉課、9支所を対象に内部監査を実施し、特定個人情報等の管理状況について確認を行った。

7 情報システム関連の危機管理(防災)対策

大規模災害罹災時における業務継続に必要な各システムのデータを安全に保管するため、各システムのバックアップデータの入った磁気テープ等を、週1回、遠隔地の安全が確保された施設にて管理、保管するよう業務を委託した。

(1) 令和6年度磁気テープ等保管業務委託

・契約期間：令和6年4月1日～令和7年3月31日

・支出額：675,400円

8 市税等各種帳票印刷及び資料情報等作成業務

市税等に関する各種帳票の用紙印刷、帳票印字及び封入封緘等の付随作業を含めた印刷業務、並びに市税等の住民税申告書等の紙資料データを電子データ化する作業等を、関係各課において委託した。

- (1) 住民情報システム関連帳票印刷等業務委託 (税関係等)
- ・ 契約期間：令和 4 年 10 月 26 日～令和 8 年 3 月 31 日 (債務負担行為)
 - ・ 支 出 額：17,194,922 円 (令和 6 年度分) 課税課に担当替
- (2) 住民情報システム関連帳票印刷等業務委託 (医療関係等)
- ・ 契約期間：令和 4 年 10 月 26 日～令和 8 年 3 月 31 日 (債務負担行為)
 - ・ 支 出 額：5,319,385 円 (令和 6 年度分) 医療保険課に担当替
- (3) 住民情報システム関連帳票印刷等業務委託 (介護・後期高齢関係)
- ・ 契約期間：令和 4 年 11 月 2 日～令和 8 年 3 月 31 日 (債務負担行為)
 - ・ 支 出 額：104,676 円 (令和 6 年度分) 介護保険課に担当替
- (4) 住民情報システム関連データ読取及び入力等業務委託
- ・ 契約期間：令和 4 年 11 月 30 日～令和 8 年 3 月 31 日 (債務負担行為)
 - ・ 支 出 額：18,542,616 円 (令和 6 年度分) 健康課に担当替

9 全庁向けシステム等の保守

総合住民情報システム及びネットワークシステム等の、庁内各課で横断的に利用するシステムや機器等について、その安定稼働を確保するため、保守委託契約を締結し、保守管理を実施した。

また、総合住民情報システム、行政情報システム及びネットワークシステムについては、契約業者との運用定例会を毎月開催するなどし、システムの安定稼働に努めた。

保守委託契約した主なシステム	保守契約先	契約額
総合住民情報システム	(株) 松阪電子計算センター	円 25,758,480
総合住民情報システム用ネットワーク	〃	2,930,400
ネットワーク・インターネットシステム	西日本電信電話(株)三重支店	14,327,830

10 各課業務におけるシステム運用支援等

各課でのシステム導入や情報機器の購入に伴う発注仕様書の作成を行うとともに、全庁的な情報システム運用管理の観点から仕様書等の内容確認を実施した。

支 援 内 容	件 数	備 考
仕様書作成	件 45	・ ノートパソコン、プリンタ等
仕様書等の内容確認	258	・ 委託、賃貸借、修繕等 165 件 ・ 備品、消耗品、通信 93 件

企 画 調 整 課

○ 企画調整係

1 第3次伊勢市総合計画（款）2．総務費（項）1．総務管理費（目）7．企画費

本市のまちづくりの基本理念を明らかにするとともに、その理念に基づく市政運営のあり方を示すものとして平成30年に策定した第3次伊勢市総合計画の推進を図った。

（1）第3次伊勢市総合計画中期基本計画の進行管理

令和4年7月に策定した中期基本計画（令和4年度～令和7年度）について、令和5年度の事業や取組の進捗状況等を整理、評価し、それを踏まえた今後の方向性を整理した。

（2）第3次伊勢市総合計画後期基本計画の策定方針

中期基本計画が令和7年度末で計画期間が終了することから、これに続く後期基本計画（令和8年度～令和11年度）の策定にあたっての方針を定めた。

（3）伊勢市総合計画審議会

伊勢市総合計画条例第8条の規定に基づき、学識経験者、公共的団体等の代表者、関係行政機関の職員等15名で構成する伊勢市総合計画審議会において、審議を行った。

・令和6年度第1回伊勢市総合計画審議会

開催日：令和6年7月22日

場 所：シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢4階 大会議室

内 容：第3次伊勢市総合計画中期基本計画の進行管理について

・令和6年度第2回伊勢市総合計画審議会

開催日：令和6年11月25日

場 所：伊勢市役所 本庁舎東館5階 5-3・5-4会議室

内 容：第3次伊勢市総合計画後期基本計画の策定について

2 行財政改革（款）2．総務費（項）1．総務管理費（目）7．企画費

総合計画に基づく各種の事業・取組等を推進するにあたり、時代にふさわしい、また、持続可能な公共サービスを提供するため、行財政改革の推進を図った。

（1）伊勢市行財政改革指針の進行管理

令和4年3月に策定した行財政改革指針（令和4年度～令和7年度）に基づき、令和6年度以降の取組計画等を整理した「伊勢市行財政改革指針取組テーマレポート【令和6年度】」を策定した。

（2）伊勢市行政改革推進委員会

学識経験者など8名の委員で構成する伊勢市行政改革推進委員会において、行政改革の推進に係る調査審議を行った。

- ・令和6年度第1回伊勢市行政改革推進委員会

開催日：令和6年4月24日

場 所：伊勢市役所 本庁舎東館4階 4-2会議室

内 容：・伊勢市行財政改革指針（令和4年度～令和7年度）の令和6年度テーマレポート（案）について
・伊勢市行財政改革指針（令和4年度～令和7年度）の期間終了後の在り方について

- ・令和6年度第2回伊勢市行政改革推進委員会

開催日：令和6年12月17日

場 所：伊勢市役所 本庁舎東館4階 4-3会議室

内 容：伊勢市人材育成・確保基本方針の改定案について

3 定住自立圏構想（款）2．総務費（項）1．総務管理費（目）7．企画費

国の定住自立圏構想推進要綱に基づき、本市を中心市として、生活圏や経済圏を共にする鳥羽市・志摩市・玉城町・度会町・大紀町・南伊勢町・明和町の3市5町で、伊勢志摩定住自立圏を形成している。

圏域が目指す将来像及びその実現のために必要な具体的取組等を明らかにする「第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン（令和6年3月28日策定）」を推進するため、圏域の関係者17名で構成される伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会及び圏域の市町長で構成される伊勢志摩定住自立圏推進協議会において、取組状況等に係る協議、圏域の課題に係る懇談を行った。

協議の結果、既存取組である「休日・夜間応急診療所の維持運営」について、連携する市町を拡大することとし、令和7年3月に変更協定を締結した。

- ・令和6年度 第1回伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン懇談会

開催日：令和6年12月2日

場 所：伊勢市役所 本庁舎東館5階 5-3・5-4会議室

内 容：第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン各取組の進捗について
既存取組への新規参画について
圏域の現状と課題（懇談）

- ・令和6年度 第1回伊勢志摩定住自立圏推進協議会

開催日：令和6年12月25日

場 所：鳥羽市役所西庁舎3階 中会議室

内 容：第3次伊勢志摩定住自立圏共生ビジョン各取組の進捗について
既存取組への新規参画について
伊勢志摩定住自立圏についての情報交換

【定住自立圏形成協定の変更】

取組名：休日・夜間応急診療所の維持運営

変更内容：対象市町の追加

対象市町：南伊勢町（歯科診療に限る。）

既連携市町：鳥羽市、志摩市、玉城町、度会町及び明和町

協定締結日：令和 7 年 3 月 28 日

4 伊勢市総合教育会議

地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、総合教育会議において、教育を行うための諸条件の整備その他地域の実情に応じた教育等の振興を図るための重点施策等について協議・調整を行った。

・令和 6 年度 第 1 回伊勢市総合教育会議

開催日：令和 6 年 10 月 28 日

場 所：小俣総合支所 3 階 大研修室

内 容：就学前のこどもの教育・保育に関する整備方針・施設整備計画について
子ども読書支援プロジェクトについて

5 若者の声プロジェクト

若者が暮らしやすいまちづくりに向けて、皇學館大学 CLL 活動において、「若者からの意見聴取」をテーマとした「若者の声プロジェクト」に取り組んだ。参加学生 4 名による、若者の声が届く仕組みづくりについての検討や、大学生を対象としたアンケート及びヒアリングによるテスト調査、その成果等を取りまとめた市への提言（令和 7 年 3 月）についてサポートを行った。

6 広告掲載事業

市が所有する様々な資産を、民間企業の広告出稿等によって積極的に有効活用し、新たな財源の確保及び事業経費の削減などを図るため、広告掲載事業を行った。

○実施媒体：広報いせ、ホームページバナー、庁内案内板、広告入り窓口封筒、納税通知書用封筒、ごみカレンダー、雑誌スポンサー、倉田山公園野球場（ベンチ上壁面・外野グラウンドフェンス）、伊勢フットボールヴィレッジ広告板、下水道事業パンフレット、資源拠点ステーション、伊勢市自治会回覧板

○収入額：10,509,800 円

○ シティプロモーション係

1 シティプロモーションの推進 （款）2．総務費（項）1．総務管理費（目）7．企画費

市民及び国内外の人々から選ばれる自治体となるべく、市の地域資源・魅力の認知度向上を目指すシティプロモーションの取組を進めた。

（1）伊勢市情報発信番組制作・放送

三重テレビ放送株式会社に委託し、同社の制作する地上波テレビジョン放送番組「Mie ライブ」内のコーナー枠「旬感 Mie」において、市の各種施策やイベントなど、市に関する様々な情報を放映することにより、市外在住者の観光等の誘発、市民アイデンティティの向上及

びビビックプライドの醸成を図った。

【情報発信番組一覧】

放 映 日	内 容
6. 7.24	・こどもたちが集うインクルーシブな公園の整備 ・伊勢市駅前 まちなかウォークアブル社会実験
6.11. 1	・伊勢市子ども読書支援プロジェクト ・インクルーシブスポーツ推進プロジェクト
7. 1.29	・伊勢市ふるさと未来づくり まちづくり協議会の取組 ・令和のご遷宮を目指して『お木曳行事』

旬感 Mie 放送時間：18 時～（生放送） 再放送：翌朝 7 時 30 分～

（２）情報配信

高い発信力を有するプレスリリースサービスを活用することにより、独自性・優位性のある市の取組や施策、地域の魅力を配信した。

配信件数：20 件

（３）シティプロモーション推進研修

シティプロモーション推進の基本となるマインド醸成や魅力の再発見、他市町の事例を学ぶことを目的とした研修を実施した。

- ・実施日：令和 7 年 1 月 30 日、31 日
- ・対象者：係長級以下の正規職員
- ・内容：「シティプロモーションとは」、「シティプロモーションの必要性」、「まちの好きなおところ、良いところを考える」

（４）移住・定住の推進

三重県等が主催する移住相談会への参加や伊勢志摩定住自立圏内の市町合同での移住フェアの開催により、市内での暮らしの魅力や移住関連施策の P R を実施した。また、一定の要件を満たし東京圏から伊勢市に移住した人に、三重県と連携し移住支援金を支給した。

移住相談会への参加

開催日	イベント名	主催	開催場所
6. 8. 3	テーマから探す！移住フェア 2024	認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センター	東京交通会館 12 階ダイヤモンドホール、カトリアサロン A・B
6. 9.21 22	第 20 回ふるさと回帰フェア 2024	認定 NPO 法人ふるさと回帰支援センター	東京国際フォーラムホール E
6.10. 6	三重県移住フェア 2024 in 名古屋	三重県	JP タワー名古屋 3 階カンファレンス A・B・ホワイエ
6.11.10	伊勢志摩移住フェア	伊勢志摩定住自立圏内各市町	三重テラス
6.12.14	三重県移住フェア 2024 in 大阪	三重県	大阪 OMM 2 階 F・F2 ホール
6.12.22	三重県主催移住セミナー	三重県	東京交通会館 8 階ふるさと回帰支援センター セミナールーム D

移住支援金の交付

支給件数：１件

（５）市の花・木・鳥

市の花・木・鳥を知り、愛着をもってもらうため、市印刷物への掲載を行ったり、ジングウツツジの鉢植えを、市役所本館と３総合支所の玄関前に設置するなど、周知啓発を行った。

２ 伊勢市ふるさと応援寄附金（款）２．総務費（項）１．総務管理費（目）７．企画費

市の貴重な自主財源の確保、地元特産品の PR 及びブランド力の向上、市内産業や観光の振興を目的として、ふるさと納税制度を活用した寄附拡大の取組を推進した。

また、地方創生の取組の推進を目的に、企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）を活用した寄附拡大の取組も推進した。

（１）寄附実績（企業版ふるさと納税 6 件含む）

寄附受領件数：12,275 件

寄附受領金額：552,391,574 円

寄附受領物品：衛星携帯電話端末 6 台（プリペイドカード 6 台分を含む。）

【受領した寄附の目的別内訳】

事業区分(活用先)		件数 (件)	金額(円)
市政全般(特に指定しない)		5,222	223,667,449
地域の文化財や民俗行事の保存、住民主体のまちづくり		990	36,891,000
子どもの健やかな成長や子どもを産み育てやすい環境づくり		3,201	135,140,647
切れ目のない福祉・医療の充実、共生社会のまちづくり		543	22,163,400
自然災害への備えや安心して暮らせるまちづくり		742	32,680,000
観光・産業の振興、安定した雇用につなげるまちづくり		1,073	47,146,400
快適な暮らしのための環境づくりや都市基盤づくり		336	13,934,000
具体的に用途を指定した方		20	7,257,678
GCF（猫たちが幸せに暮らす伊勢に！！）		72	890,000
GCF（誰もが主役！伊勢から笑顔でつながるインクルーシブスポーツの世界）		40	161,000
GCF（輝く未来のために子どもたちの学びを応援したい！）		30	760,000
小計		12,269	520,691,574
企業版 ふるさと 納税	・郷土資料館整備事業 ・奨学金育英事業 ・子ども読書支援プロジェクト	6	31,700,000
小計		6	31,700,000
合計		12,275	552,391,574

GCF（ガバメントクラウドファンディング）は、ふるさと納税型クラウドファンディングの 1 つで、自治体の掲げる課題解決のテーマを応援するために、寄附をする仕組み。

(2) 新規取組

- ・一休.com ふるさと納税を令和 6 年 6 月 3 日から開始。
- ・伊勢市旅先納税を令和 6 年 7 月 24 日から開始。

3 伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略

(款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 7 . 企画費

「伊勢市まち・ひと・しごと創生会議」を 2 回開催した。第 1 回会議では、「第 2 期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略」の進行管理についての審議と、次期 (第 3 期) 総合戦略について総合計画と統合することで策定・進行管理における事務の合理化・効率化を図るため、現 (第 2 期) 総合戦略の計画期間を 1 年延伸して、総合計画と計画期間を揃える計画改訂の方向性について審議を行った。

また、第 2 回会議では、第 2 期総合戦略の計画改定 (案) について審議を行った。その後、市議会での協議を経て、計画期間の 1 年延伸を含む第 2 期総合戦略の改定を行った。

- ・令和 6 年度第 1 回伊勢市まち・ひと・しごと創生会議

開催日：令和 6 年 7 月 18 日

場 所：いせシティプラザ 2 階 多目的ホール

内 容：第 2 期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の進行管理について
第 2 期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画改訂について

- ・令和 6 年度第 2 回伊勢市まち・ひと・しごと創生会議

開催日：令和 6 年 11 月 22 日

場 所：伊勢市役所東館 5 階 5 - 3 ・ 5 - 4 会議室

内 容：第 2 期伊勢市まち・ひと・しごと創生総合戦略の計画改訂 (案) について

4 市制 20 周年関係 (款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 7 . 企画費

令和 7 年度に市制 20 周年を迎えることの PR や、活力あふれる元気な伊勢市を次の世代へ繋ぐための取組を行った。

(1) ISE PITCH CONTEST の開催

伊勢の活力創出や地域課題解決の取組開始を促進するため、提案者自らが実施する、伊勢の活力創出や地域課題解決のプランを対象としたコンテストを開催した。また、コンテスト応募プランの実現に向けて、実証実験の協力や関係者の紹介などの支援を行った。

応募結果は 50 プランで、最優秀賞 1 者、優秀賞 2 者を決定した。

(2) 若手職員チャレンジ志向醸成研修

次の 20 年を担う若手職員のチャレンジ志向の醸成と、庁外の人との交流・関係構築を目的に、研修を実施した。

受講者：29 名

回数：全 6 回

(3) 市制 20 周年記念ロゴマークの作成

市制 20 周年の PR に活用するため、未来を担う市内の高校に通う学生にデザインを募集し、応募作品の中から、二十歳のつどい実行委員会での選定を経て、決定した。

調査統計係

1 市民アンケートの実施 (款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 7 . 企画費

市民の意識や日常生活における活動等を把握し、今後の市政に反映させるための基礎資料を得ることを目的として、オンラインによる市民アンケートを実施した。令和 6 年度においては、市内事業者と連携し、アンケート回答者に抽選でプレゼントを実施した。

(1) 周知方法：市ホームページへの掲載及び全 LINE 登録者への配信

(2) 実施時期等：月 1 回 (7 月 ~ 2 月の 8 回) 各 4 ~ 9 問程度

2 「伊勢市人口ビジョン」の改訂 (款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 7 . 企画費

次期地方版総合戦略の基礎資料とするため、人口減少の要因分析や将来人口推計等を行い、「伊勢市人口ビジョン」の改訂を進めた。

3 データ利活用研修の実施 (款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 7 . 企画費

デジタル化の進展により、公的統計や業務上の収集データ等のオープンデータ化が進んでいることから、様々な分野における課題解決に向けて、客観的な統計データに基づく的確かつ効率的な行政運営が求められている。職員の意識改革 (必要性・有用性の認識、共有) のため、オンライン研修の受講案内や外部講師による対面研修を開催した。

(1) オンライン研修

オンラインで学習できる統計研修を庁内職員へ案内し、延べ 16 名が受講した。

(2) 外部講師による研修

データを探す、活用する (e-Stat や jSTAT MAP 等の操作方法等) などデータ利活用の実践的な内容とし、係長級職員に対して、開催した。

・ 日 時 令和 6 年 7 月 23 日 13:30 ~ 16:30

・ 講 師 総務省統計局統計情報システム管理官室

統計基盤デジタル化調整担当 主査 大瀬 寛彰 氏

係員 舘野 雅貴 氏

・ 参加人数 24 名

(3) 伊勢市スマートシティ推進フェローの委嘱

市のデータ活用に係る取組に関し、市職員のデータリテラシーの向上及び実践を図るため、令和 7 年 1 月 8 日付けで矢口太一氏に伊勢市スマートシティ推進フェローを委嘱した。

4 各種統計調査結果の整理、情報発信

(款) 2 . 総務費 (項) 5 . 統計調査費 (目) 1 . 統計調査総務費

市の自然、人口、産業、民生、建設、教育等の各種統計調査結果データの収集・整理と情報発信を行った。

(1) 市勢統計要覧

市に関する基本的統計データを収録した「2024 年(令和 6 年) 版市勢統計要覧」を作成し、発行した。

(2) 伊勢市統計データベース

e-Stat (政府統計の総合窓口) 、みえ DataBox (三重県所管) から市に関するデータを収集し、市ホームページで「伊勢市統計データベース」を公開した。

5 統計調査員の確保対策 (款) 2 . 総務費 (項) 5 . 統計調査費 (目) 1 . 統計調査総務費

国が実施する統計調査に際して、統計調査員、指導員の選任が困難になっている現状を改善するため、あらかじめ希望者を登録することを目的として、広報いせ、市ホームページ、伊勢市公式 LINE 等で募集を行った。

また、登録者に対して現況調査を実施し、登録者情報を更新した。

・令和 6 年度新規登録者数 23 名 (令和 7 年 3 月 31 日現在登録者数 172 名)

6 三重県人口推計調査 (調査周期 : 毎月 所管 : 三重県)

(款) 2 . 総務費 (項) 5 . 統計調査費 (目) 2 . 諸統計調査費

国勢調査による人口、男女数及び世帯数を基準に、住民基本台帳における移動を加減して、毎月の人口を推計した。

令和 7 年 3 月 1 日現在

総人口	男	女	世帯数
人 116,722	人 55,303	人 61,419	世帯 52,119

7 学校基本調査 (調査周期 : 毎年 所管省庁 : 文部科学省)

(款) 2 . 総務費 (項) 5 . 統計調査費 (目) 2 . 諸統計調査費

学校教育行政上の基礎資料を得るため、市内の幼稚園、幼保連携型認定こども園、小・中学校等の園児・児童・生徒数、教員数等を調査した。

令和 6 年 5 月 1 日現在

調査対象	公私立別	園・学校数	園児・児童 ・生徒数	教 員 数	
				本務者	兼務者
幼稚園	公 立	園・校 2	人 102	人 16	人 -
	私 立	6	301	48	9
幼保連携型 認定こども園	公 立	1	93	15	15
	私 立	7	1,009	148	45
小学校	公 立	22	5,478	427	104
中学校	公 立	10	2,991	218	63
	私 立	1	56	12	9
計		49	10,030	884	245

8 国勢調査 調査区設定（調査周期：5年 所管省庁：総務省）

（款）2．総務費（項）5．統計調査費（目）2．諸統計調査費

令和7年国勢調査の実施にあたり、調査の重複・脱漏を防ぎ、正確な調査を行うため、市内全域に調査区を設定した。

9 令和6年全国家計構造調査（調査周期：5年 所管省庁：総務省）

（款）2．総務費（項）5．統計調査費（目）2．諸統計調査費

家計における消費、所得、資産及び負債の実態を総合的に把握し、世帯の所得分布及び消費の水準、構造等を全国及び地域別に明らかにすることを目的として、国から指定された調査区の中から選定した世帯に対して調査を実施した。

- ・ 調査期間 基本調査 令和6年10月1日～11月30日
 簡易調査 令和6年11月1日～11月30日
- ・ 調査対象世帯 基本調査 2調査区 24世帯
 簡易調査 2調査区 24世帯
- ・ 調査員数 4名
- ・ 指導員数 1名
- ・ 調査員説明会 基本調査 2回
 簡易調査 2回
- ・ 結果公表予定 令和7年12月

10 2025年農林業センサス（調査周期：5年 所管省庁：農林水産省）

（款）2．総務費（項）5．統計調査費（目）2．諸統計調査費

農林業・農山村の基本構造の実態とその変化を明らかにし、土地、労働力等農林行政に必要な農業及び林業に関する基礎資料を整備することを目的として、農林業を営んでいる農家等に対して調査を実施した。

- ・ 調査期日 令和7年2月1日
- ・ 調査対象客体 4,006客体
- ・ 調査員数 154名
- ・ 指導員数 16名
- ・ 調査員説明会 5回
- ・ 結果公表予定 令和8年3月末

財 政 課

1 歳入歳出予算

本年度における一般会計及び各特別会計の予算額及び議決の状況は、次のとおりであった。

(単位：千円)

区 分		当 初 予 算 額 6. 3.15 議決	補 正 予 算 額		
			6. 5.20 専 決	6. 6.24 議 決	6. 7. 3 議 決
一 般 会 計		54,949,000	1,329,886		315,538
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	12,675,717			
	後期高齢者医療	3,797,843			
	介 護 保 険	15,147,608			
	観 光 交 通 対 策	557,434			
	土 地 取 得	530,758			
	計	32,709,360			
合 計		87,658,360	1,329,886		315,538

区 分		補 正 予 算 額			
		6.10. 8 議 決	6.10. 9 専 決	6.12.18 議 決	6.12.18 議 決
一 般 会 計		56,489	82,606	510,665	45,512
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険			15,899	
	後期高齢者医療			8,116	
	介 護 保 険	140,208		903	
	観 光 交 通 対 策			0	
	土 地 取 得				
	計	140,208		8,686	
合 計		196,697	82,606	519,351	45,512

区 分		補 正 予 算 額			
		6.12.18 議 決	6.12.18 議 決	7. 3.24 議 決	7. 3.24 議 決
一 般 会 計		345,249	473,400	215,331	45,512
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険	3,777		11,615	
	後期高齢者医療	914		118,221	
	介 護 保 険	4,036		369,211	
	観 光 交 通 対 策	971		49,658	
	土 地 取 得			250,048	
	計	9,698		275,427	
合 計		354,947	473,400	60,096	45,512

区 分		繰 越 明許費 繰越額	事 故 繰越額	予算総額
一 般 会 計		1,540,616	3,539	59,482,682
特 別 会 計	国 民 健 康 保 険			12,683,778
	後期高齢者医療			3,908,862
	介 護 保 険			15,661,966
	観 光 交 通 対 策			608,063
	土 地 取 得			280,710
	計			33,143,379
合 計		1,540,616	3,539	92,626,061

(注) ○内の数字は、補正の回数を表す。

債務負担行為の補正のみ

2 地方交付税

本年度における地方交付税の状況は、次のとおりであった。

(1) 普通交付税 11,497,624 千円

(一本算定)

・ 基準財政需要額	27,154,436 千円
・ 基準財政収入額	15,656,812 千円
・ 交 付 基 準 額	11,497,624 千円
・ 調 整 額	- 千円
・ 交 付 決 定 額	11,497,624 千円

(2) 特別交付税 978,362 千円

3 市債の状況

一般会計における市債の状況は、次のとおりであった。

(1) 年度末現在高

令和 6 年 度 末 現 在	54,459,985 千円
----------------	---------------

(2) 借入状況

事業名	借入額	借入年月日	借入先	借利率	備考
	千円			%	
公共事業等債	303,700	7.3.25	財務省	1.50	
	21,500	7.3.25	"	1.70	
	13,500	7.5.28	伊勢農業協同組合	0.95	
	539,800	7.5.28	"	1.18	
公営住宅整備事業債	34,200	7.5.28	"	0.95	
災害復旧事業債	100	7.3.25	財務省	1.20	
学校教育施設等整備事業債	55,100	7.3.25	"	1.50	
	5,200	7.5.28	伊勢農業協同組合	0.95	
	107,300	7.5.28	"	1.18	
社会福祉施設整備事業債	1,800	7.5.28	"	1.18	
一般廃棄物処理事業債	5,000	7.5.28	桑名三重信用金庫	0.80	
一般補助施設整備事業債	4,200	7.5.28	伊勢農業協同組合	1.18	
一般単独事業債	13,500	7.3.25	全国市有物件災害共済	0.90	
	4,800	7.5.28	桑名三重信用金庫	0.80	
	70,600	7.5.28	伊勢農業協同組合	0.95	
地域活性化事業債	61,500	7.5.28	"	0.95	
	14,600	7.5.28	"	1.18	
防災対策事業債	28,300	7.5.28	桑名三重信用金庫	0.80	
	2,500	7.5.28	伊勢農業協同組合	0.95	
	6,300	7.5.28	"	1.18	
地方道路等整備事業債	154,400	7.5.28	"	1.18	
緊急防災・減災事業債	100,500	7.5.28	"	0.95	
	7,400	7.5.28	"	1.18	
公共施設等適正管理推進事業債	17,100	7.5.28	"	0.95	
緊急自然災害防止対策事業債	383,300	7.4.21	市町村振興協会	1.10	
	15,500	7.5.28	伊勢農業協同組合	0.95	
	550,400	7.5.28	"	1.18	
緊急浚渫推進事業債	34,600	7.5.28	"	0.95	

事業名	借入額	借入 年 月 日	借入先	借利 入 率	備 考
	千円			%	
脱炭素化推進事業債	11,400	7.5.28	伊勢農業協同組合	0.95	
こども子育て支援事業債	35,200	7.5.28	桑名三重信用金庫	0.80	
	8,800	7.5.28	伊勢農業協同組合	0.95	
水道事業出資債	18,300	7.5.28	〃	0.95	
	57,400	7.5.28	〃	1.18	
臨時財政対策債	122,600	7.5.27	財 務 省	1.30	
計	2,810,400				

4 一般会計決算の状況

(1) 歳入歳出決算額と前年度との比較

ア 歳入

区 分	年度 決 算	令 和 6 年 度		令 和 5 年 度		比 較	
		決 算 額 (A)	構成比	決 算 額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C)/(B)
1 市 税		千円 16,742,551	% 29.6	千円 16,902,829	% 30.8	千円 160,278	% 0.9
(1) 普 通 税		15,336,141	27.1	15,496,900	28.2	160,759	1.0
(2) 目 的 税		1,406,410	2.5	1,405,929	2.6	481	0.0
2 地 方 譲 与 税		362,726	0.6	353,290	0.6	9,436	2.7
3 利 子 割 交 付 金		7,752	0.0	6,280	0.0	1,472	23.4
4 配 当 割 交 付 金		181,299	0.3	126,018	0.2	55,281	43.9
5 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金		250,787	0.4	138,251	0.3	112,536	81.4
6 法 人 事 業 税 金 交 付 金		373,035	0.7	342,714	0.6	30,321	8.8
7 地 方 消 費 税 金 交 付 金		3,176,029	5.6	3,104,175	5.7	71,854	2.3
8 ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金		13,044	0.0	13,218	0.0	174	1.3
9 自 動 車 取 得 税 交 付 金		0	0.0	3,138	0.0	3,138	100.0
10 環 境 性 能 割 交 付 金		58,614	0.1	51,161	0.1	7,453	14.6
11 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金		86,329	0.2	86,817	0.2	488	0.6
12 地 方 特 例 交 付 金		647,721	1.1	129,477	0.2	518,244	400.3
13 地 方 交 付 税		12,475,986	22.1	12,524,456	22.8	48,470	0.4
(1) 普 通 交 付 税		11,497,624	20.3	11,551,544	21.0	53,920	0.5
(2) 特 別 交 付 税		978,362	1.7	972,912	1.8	5,450	0.6
14 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金		9,228	0.0	9,814	0.0	586	6.0
15 分 担 金 及 び 負 担 金		625,119	1.1	627,364	1.1	2,245	0.4
16 使 用 料 及 び 手 数 料		312,876	0.6	322,363	0.6	9,487	2.9
17 国 庫 支 出 金		10,081,320	17.8	10,370,800	18.9	289,480	2.8
18 県 支 出 金		4,165,000	7.4	3,974,332	7.2	190,668	4.8
19 財 産 収 入		311,839	0.6	151,544	0.3	160,295	105.8

年度 決算 区 分	令 和 6 年 度		令 和 5 年 度		比 較	
	決 算 額 (A)	構成比	決 算 額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
20 寄 附 金	千円 584,391	% 1.0	千円 529,502	% 1.0	千円 54,889	% 10.4
21 繰 入 金	1,894,078	3.4	1,630,127	3.0	263,951	16.2
22 繰 越 金	353,613	0.6	287,600	0.5	66,013	23.0
23 諸 収 入	1,007,636	1.8	1,012,864	1.8	5,228	0.5
24 市 債	2,810,400	5.0	2,272,500	4.1	537,900	23.7
歳 入 合 計	56,531,373	100.0	54,970,634	100.0	1,560,739	2.8

イ 歳出（目的別）

年度 決算 区 分	令 和 6 年 度		令 和 5 年 度		比 較	
	決 算 額 (A)	構成比	決 算 額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
1 議 会 費	千円 294,029	% 0.5	千円 291,422	% 0.5	千円 2,607	% 0.9
2 総 務 費	4,940,523	8.8	4,425,107	8.1	515,416	11.6
3 民 生 費	23,943,884	42.6	23,595,869	43.3	348,015	1.5
4 衛 生 費	5,321,999	9.5	5,848,283	10.8	526,284	9.0
5 労 働 費	59,984	0.1	57,230	0.1	2,754	4.8
6 農林水産業費	978,879	1.7	1,043,729	1.9	64,850	6.2
7 商 工 費	331,023	0.6	716,748	1.3	385,725	53.8
8 観 光 費	489,136	0.9	452,072	0.8	37,064	8.2
9 土 木 費	7,109,025	12.7	6,022,471	11.1	1,086,554	18.0
10 消 防 費	2,355,396	4.2	2,280,026	4.2	75,370	3.3
11 教 育 費	4,639,110	8.3	3,855,146	7.1	783,964	20.3
12 災害復旧費	2,835	0.0	125,573	0.2	122,738	97.7
13 公 債 費	5,673,274	10.1	5,737,345	10.6	64,071	1.1
14 諸 支 出 金	0	0.0	0	0.0	0	-
歳 出 合 計	56,139,097	100.0	54,451,021	100.0	1,688,076	3.1

ウ 歳出（性質別）

年度 決算 区 分	令 和 6 年 度		令 和 5 年 度		比 較	
	決 算 額 (A)	構成比	決 算 額 (B)	構成比	(A) - (B) (C)	(C) / (B)
	千円	%	千円	%	千円	%
1 人 件 費	10,492,523	18.7	9,681,524	17.8	810,999	8.4
2 物 件 費	7,612,160	13.5	7,267,215	13.4	344,945	4.7
3 維 持 補 修 費	380,155	0.7	369,072	0.7	11,083	3.0
4 扶 助 費	14,538,964	25.9	13,983,520	25.7	555,444	4.0
5 補 助 費 等	7,070,587	12.6	8,133,473	14.9	1,062,886	13.1
6 普 通 建 設 費 事 業 費	4,593,364	8.2	3,619,171	6.7	974,193	26.9
(1) 補 助 事 業 費	2,171,934	3.9	1,710,199	3.1	461,735	27.0
(2) 単 独 事 業 費	2,189,017	3.9	1,712,352	3.2	476,665	27.8
(3) 事 業 負 担 金	232,413	0.4	196,620	0.4	35,793	18.2
7 災 害 復 旧 費 事 業 費	2,850	0.0	126,333	0.2	123,483	97.7
(1) 補 助 事 業 費	2,095	0.0	87,600	0.1	85,505	97.6
(2) 単 独 事 業 費	755	0.0	38,733	0.1	37,978	98.1
8 失 業 対 策 費 事 業 費	0	0.0	0	0.0	0	-
(1) 補 助 事 業 費	0	0.0	0	0.0	0	-
(2) 単 独 事 業 費	0	0.0	0	0.0	0	-
9 貸 付 金	0	0.0	0	0.0	0	-
10 公 債 費	5,673,274	10.1	5,737,345	10.5	64,071	1.1
11 投 資 及 び 出 資 金	75,700	0.1	56,800	0.1	18,900	33.3
12 積 立 金	271,238	0.5	231,144	0.4	40,094	17.3
13 繰 出 金	5,428,282	9.7	5,245,424	9.6	182,858	3.5
歳 出 合 計	56,139,097	100.0	54,451,021	100.0	1,688,076	3.1

エ 一般会計決算の市民１人当たりの額

(令和７年３月３１日現在人口 １１８,１７９人)

歳 入			歳 出		
区 分	決 算 額	市民１人 当たりの額	区 分	決 算 額	市民１人 当たりの額
市 税	千円 16,742,551	円 141,671	消 費 的 経 費	千円 40,094,389	円 339,267
地 方 譲 与 税	362,726	3,069	人 件 費	10,492,523	88,785
利子割交付金	7,752	66	物 件 費	7,612,160	64,412
配当割交付金	181,299	1,534	維持補修費	380,155	3,217
株 式 等 譲 渡 所得割交付金	250,787	2,122	扶 助 費	14,538,964	123,026
法人事業税交付金	373,035	3,157	補 助 費 等	7,070,587	59,829
地 方 消 費 税 交 付 金	3,176,029	26,875	投 資 的 経 費	4,596,214	38,892
ゴルフ場利用税 交 付 金	13,044	110	普 通 建 設 事 業 費	4,593,364	38,868
自 動 車 取 得 税 交 付 金	0	0	災 害 復 旧 事 業 費	2,850	24
環 境 性 能 割 交 付 金	58,614	496	失 業 対 策 事 業 費	0	0
国有提供施設 等所在市町村 助 成 交 付 金	86,329	730	そ の 他 の 経 費	11,448,494	96,874
地方特例交付金	647,721	5,481	貸 付 金	0	0
地 方 交 付 税	12,475,986	105,569	公 債 費	5,673,274	48,005
交通安全対策 特 別 交 付 金	9,228	78	投 資 及 び 出 資 金	75,700	640
分 担 金 及 び 負 担 金	625,119	5,290	積 立 金	271,238	2,295
使 用 料 及 び 手 数 料	312,876	2,647	繰 出 金	5,428,282	45,933
国 庫 支 出 金	10,081,320	85,306			
県 支 出 金	4,165,000	35,243			
財 産 収 入	311,839	2,639			
寄 附 金	584,391	4,945			
繰 入 金	1,894,078	16,027			
繰 越 金	353,613	2,992			
諸 収 入	1,007,636	8,526			
市 債	2,810,400	23,781			
歳 入 合 計	56,531,373	478,354	歳 出 合 計	56,139,097	475,034

5 基金の決算状況

条例に定める基金の設置目的に従い、基金に属する現金等の適正な管理を行った。

種 類	区 分	前年度末 現 在 高	決算年度中 増 減 高	決算年度末 現 在 高
財 政 調 整 基 金	現 金	千円 10,016,934	千円 708,037	千円 9,308,897
減 債 基 金	現 金	1,441,605	44,329	1,397,276
ふ る さ と 創 生 基 金	現 金	707,065	52,900	654,165
国 際 交 流 基 金	現 金	60,000	0	60,000
庁 舎 整 備 基 金	現 金	10,706	27	10,733
職 員 退 職 手 当 基 金	現 金	448,845	1,143	449,988
月 僱 金 復 興 社 会 事 業 基 金	現 金	7,995	0	7,995
地 域 福 祉 基 金	現 金	158,758	27,221	131,537
災 害 援 護 基 金	現 金	108,469	277	108,746
中 山 間 ふ る さ と ・ 水 と 土 保 全 対 策 基 金	現 金	48,133	123	48,256
河 川 環 境 基 金	現 金	10,320	27	10,347
育 英 基 金	現 金	111,116	3,557	114,673
文 化 振 興 基 金	現 金	134,058	2,585	131,473
地 域 振 興 基 金	現 金	1,295,600	567,900	727,700
景 観 形 成 基 金	現 金	424,887	12,193	412,694
森 林 づ く り 基 金	現 金	0	0	0
森 林 環 境 譲 与 税 基 金	現 金	49,530	7,226	42,304
民 俗 伝 統 行 事 継 承 基 金	現 金	248,814	21,888	270,702
計	現 金	15,282,835	1,395,349	13,887,486

広 報 広 聴 課

○ 広報いせ発行事業（款）２．総務費（項）１．総務管理費（目）５．広報広聴費

「広報いせ」を毎月１日と15日（１月・５月は合併号として１日のみ）に発行し、市の方針や事業計画・各種制度の概要、行事予定、市民活動情報、伊勢病院の先生のコラムなどを広く市民に広報し、正しい理解と協力を求めるとともに、市民参画意識の高揚に努めた。

また、「広報いせ」への広告掲載を実施し、財源の確保に努めた。

（広告掲載件数：302件、収入金額：4,320,000円）

発行号	頁数	発行部数	主 な 記 事
4月15日号	16	54,510	市営大仏山公園に新たな遊具広場が完成！ ほか
5月 1日号	36	54,550	特集「令和6年度 施政方針と当初予算」 ほか
6月 1日号	32	54,540	特集「なぜ怖い？線状降水帯」 ほか
6月15日号	12	54,550	7月11日を含む1週間は“健康文化週間”「週間テーマは、野菜を食べよう」 ほか
7月 1日号	32	54,540	特集「生活を支え、未来をつくる！『伊勢市役所の仕事』」 ほか
7月15日号	16	54,520	みて！きいて！たしかめて！「楽しく いせの文化と歴史を学ぼう!!」 ほか
8月 1日号	28	54,500	特集「伊勢うどん」 ほか
8月15日号	12	54,510	救急・災害を考える集い ほか
9月 1日号	32	54,520	特集「もう迷わない！ごみ分別アプリのすすめ（皇學館大学「広報いせ」特集記事制作プロジェクト）」 ほか
9月15日号	8	54,520	パパ＆ママのための「夫婦会議®」の始め方講座 ほか
10月 1日号	28	54,500	特集「未来へ、つなぐ。思い、誇り、伝統を。」伊勢まつり・初穂曳・お木曳 ほか
10月15日号	16	54,490	第17回 伊勢病院ふれあいまつり ほか
11月 1日号	32	54,490	特集「子ども読書支援プロジェクト～図書館でできること～（皇學館大学「広報いせ」特集記事制作プロジェクト）」 ほか

11月15日号	12	54,500	野口みずき杯 2024 中日三重 お伊勢さんマラソン ほか
12月 1日号	32	54,480	特集「言葉で傷つけず、言葉で紡ぐ幸せを～ネット上のいじめ・誹謗中傷～」 ほか
12月15日号	12	54,480	第12回バスポスターコンクールの入賞者が決定しました！ ほか
1月 1日号	32	54,480	特集「地域おこし協力隊 - 伊勢の魅力、発見中。Part2 - 」 ほか
2月 1日号	32	54,490	市民活動特集「未来へ向けて広げる輪」 ほか
2月15日号	16	54,490	いせっ子朝食メニューコンクール「入賞作品を紹介します！」 ほか
3月 1日号	28	54,500	8市町合同特集「ここに寄り添い命を守る（皇學館大学「広報いせ」特集記事制作プロジェクト）」 ほか
3月15日号	8	54,510	もうすぐ伊勢にも、桜の便りが届きます ほか
4月 1日号	36	54,490	まちづくり協議会特集「自分たちのまちは、自分たちでつくる。」 ほか

○ C A T V 広報いせ放送事業（款）2．総務費（項）1．総務管理費
（目）5．広報広聴費

行政情報番組〔お知らせ番組（毎月2回更新）と特集番組（年間6本）〕を制作し、市政に関するお知らせなどを放送した。

< 特集番組（年間6本） >

放送回数 1日8回（午前6時・8時・11時・午後1時・4時・6時・9時・11時）

月	タ イ ト ル	内 容
4	令和6年度の主な事業の紹介	令和6年度の事業についての案内
6	伊勢の歴史探訪～追憶の離宮院～	伊勢市の古代遺跡「離宮院」を紹介
10	忍者服部腎臓～腎臓を守るための9箇条～	普段の生活を振り返りながら、腎臓に優しい生活の仕方を楽しく紹介
11	伊勢の歴史探訪～伊勢市の石造物パート2～	伊勢市の町のあちこちにひっそりとたたずむ、知っているようで知らない石造物を紹介
1	伊勢の伝統と誇り～令和のお木曳に向けて～	昔から受け継がれて大切にされてきた、伊勢ならではの民俗行事「お木曳」の魅力を紹介
2	伊勢市役所ってこんなところ！	伊勢市役所の仕事（事務職、土木技術職、保育士、保健師）を紹介

< お知らせ番組（毎月２回更新） >

放送回数 １日 ８回（午前 ７時・ ９時・ 正午・ 午後 ２時・ ５時・ ７時・ 10時・ 翌日午前 0 時）

月	内 容
4	狂犬病予防注射、春の全国交通安全運動、固定資産税の納付 など
5	ごみ収集車、下水道の計画と整備、伊勢市奨学金、伊勢神宮奉納全国花火大会観覧席販売、軽自動車税の納付 など
6	こども医療費助成制度の所得制限撤廃、伊勢神宮奉納全国花火大会、予防接種、市県民税の納付、勢田川七夕大そうじ、特定健康診査、健康文化週間、男女共同参画週間、お伊勢さんマラソンエントリー募集 など
7	粗大ごみの捨て方、ごみフェス、がん検診、夏の交通安全県民運動、福祉医療費受給資格証の更新、国民健康保険被保険者証の更新、地籍調査 など
8	ごみアプリ、パートナーの日 など
9	「中学生ピースメッセンジャー」広島平和事業参加者報告、紙パックの捨て方、環境フェア、秋の全国交通安全運動、伊勢まつり、孤独・孤立対策推進事業、伊勢市民芸能祭 など
10	ごみ減量の啓発、おかげバス、高齢者インフルエンザ予防接種、新型コロナウイルスワクチン予防接種、結核肺がん集団検診、賓日館開館記念日入館無料デー、伊勢市民芸能祭、特定健診、特定保健指導 など
11	MOTTAINAI ポスター入賞作品、お伊勢さんマラソン、COPD、伊勢病院ふれあいまつり、就労支援、いせ国際交流日本語スピーチ大会 など
12	年末の交通安全県民運動、救急医療体制と休日・夜間応急診療所 など
1	ごみ減量の啓発、不妊不育治療医療費助成事業、おひなさまめぐり in 二見 など
2	美し国三重市町対抗駅伝伊勢市選手団紹介、市・県民税の申告と所得税の確定申告、人権映画祭上映作品 など
3	市税の口座振替、人権映画祭上映作品、消防団員募集、横輪桜まつり など

< YouTube 広告配信 >

特集番組をより多くの人に視聴してもらうため、YouTube 広告を配信した。

配信内容：伊勢の伝統と誇り～令和のお木曳に向けて～（長編及び短編）

配信期間：令和 7 年 2 月 15 日～令和 7 年 3 月 7 日 配信エリア：三重県内

視聴回数（配信期間中）：長編 13,752 回 短編 27,604 回

○ インターネット情報発信事業（款）２．総務費（項）１．総務管理費
（目）５．広報広聴費

< 伊勢市ホームページ >

各所属からの情報を掲載するとともに、ウェブアクセシビリティに準拠したホームページになるよう努めた。

- ・公開ページ数：6,299件（令和7年3月31日時点）
- ・閲覧開始数（セッション数）：3,959,278件（令和6年4月1日～令和7年3月31日）
- ・広告件数：24件・240,000円

< 広報いせFacebook・X >

即時性の高い市政情報などを効果的に発信する媒体として、平成29年1月から「広報いせFacebook」「広報いせX」を運用している。

（令和6年4月1日～令和7年3月31日期間中の投稿・閲覧状況・フォロワー数など）

- ・広報いせFacebook：投稿数（342件）、閲覧数（117,271件）、フォロワー数（1,842人）
- ・広報いせX：投稿数（342件）、閲覧数（343,273件）、フォロワー数（2,338人）

< YouTube伊勢市役所チャンネル >

市政情報などを映像媒体で効果的に発信するため、平成23年7月にチャンネルを開設し、運用している。

（令和6年4月1日～令和7年3月31日期間中の投稿・視聴状況・登録者数など）

投稿数（50件）、視聴回数（434,955回）、登録者数（4,973人）

○ 外部人材の活用（款）２．総務費（項）１．総務管理費
（目）４．人材育成推進費

職員課から執行委任

令和5・6年度と、「伝わる広報」を目的として外部専門家を活用した。外部専門家と協力しながら、令和5年度は情報発信の基本的な考え方や手法をまとめた職員向け「広報ハンドブック」の作成、令和6年度にはより実務に落とし込むための「ハンドブック具体例集」を作成した。職員研修についてもハンドブックに沿った内容のものとし、令和6年度の研修では情報発信に意識の高い職員が手上げをした「アドバンスド研修」を実施し、全庁的な情報発信力の強化に取り組んだ。

また、「広報いせ」の4色ページ（表紙・特集・裏表紙）作成を中心に、CATV番組作成やホームページなど、情報発信全般にアドバイスを受けた。加えて、各所属の広報・プロモーション活動に対する個別指導・支援を行う「広報クリニック」を実施した。

< 外部人材 > PRDESIGN JAPAN株式会社 代表取締役 佐久間 智之 氏

< 契約期間 > 令和6年4月1日～令和7年3月31日

○ 市民相談の実施（款）２．総務費（項）１．総務管理費（目）５．広報広聴費

市役所内相談室において、法律・行政・人権・登記・交通事故・公証の市民相談を実施し、相談事の解決に努めた。

また、二見総合支所、小俣総合支所において行政相談を実施した。

相談名	実 施 日	相 談 担 当 者
法 律	毎週月曜日（祝日の場合は翌日） 午後1時30分～3時30分（先着8人）	弁護士
行 政	奇数月第2火曜日 午後1時～ （二見総合支所） 毎月第3火曜日 午後1時～ （広報広聴課相談室） 偶数月第4火曜日 午後1時～ （小俣総合支所）	行政相談委員
人 権	毎月第2木曜日 午後1時～	人権擁護委員
登 記	毎月第2火曜日 午後1時～（先着6人）	県司法書士会伊勢支部会員
交通事故	毎月第3水曜日 午後1時～（先着4人）	三重弁護士会弁護士
公 証	偶数月第1木曜日 午後1時30分～（先着2人）	公証人

項目 \ 区分	法律相談	行政相談	人権相談	登記相談	交通事故相談	公証相談	計
登 記	19 件	0 件	0 件	49 件	0 件	0 件	68 件
家 庭	63	0	2	0	0	0	65
相 続	99	0	0	30	0	2	131
金 銭	88	0	1	0	0	0	89
土 地	45	0	0	6	0	0	51
福 祉	2	0	0	0	0	0	2
交通事故	7	0	0	0	13	0	20
そ の 他	102	0	2	0	0	1	105
計	425	0	5	85	13	3	531

○ 報道機関への情報提供

8月を除いた各月に市長定例記者会見を開催したとともに、各課から随時の資料提供により市の施策や事業、イベントなどの情報発信を報道機関（伊勢記者会）に対して、積極的に行い、広報活動の充実に努めた。

○ 市政への提案箱システム

開かれた市政を推進し、市民と行政の協働関係を築くため、市政への提案箱システムを活用し、ホームページからの投稿及び紙での提案箱投稿の意見を集約・分類した。

(市政への提案箱設置場所)

本庁舎、各総合支所、各支所、いせトピア、健康課 (MiraISE 5 階)

担当部局	件 数	受 付 方 法	
		市政への 提案箱(窓口)	ホームページ 「市政への提案箱」
総務部	9 件	6 件	3 件
危機管理部	5	2	3
情報戦略局	17	11	6
資産経営部	15	7	8
環境生活部	32	13	19
健康福祉部	37	19	18
産業観光部	13	8	5
都市整備部	38	19	19
検査室	0	0	0
会計課	1	0	1
二見総合支所	0	0	0
小俣総合支所	1	0	1
御園総合支所	0	0	0
上下水道部	3	0	3
教育委員会	30	14	16
議会事務局	2	0	2
選挙管理委員会事務局	2	2	0
監査委員事務局	0	0	0
農業委員会事務局	0	0	0
伊勢総合病院	2	1	1
消防本部	5	3	2
回 答 計	212	105	107
回答不要(参考意見)	69	49	20
対象外	5	1	4

文 化 政 策 課

○ 文化振興関係 （款）11．教育費（項）5．社会教育費（目）3．文化振興費

1 文化振興事業

（１）2024 ISE COLLECTION（いせ・これくしょん）の開催

市民が文化芸術に親しむとともに、日頃の文化芸術活動の成果を発表する場として、“鑑賞・体験・披露”をキーワードに年間を通じて様々なイベント等を開催している。また、ISE COLLECTIONを通して、複数のイベントを一体的に情報発信し、より効果的に文化芸術の振興を図っている。

ア 伊勢市芸術祭

市民芸能祭の開催

文化芸術（舞台芸能）の振興を図るため、第67回伊勢市民芸能祭を次のとおり開催した。

なお、開催業務は、伊勢市文化協会へ委託している。

部 門	開 催 日	開 催 場 所	出演団体数	出演者数	観覧者数
邦楽	6.10. 6	伊勢市生涯学習センター いせトピア	団体 8	人 131	人 287
吟詠剣詩舞	6.10.20		6	89	144
能楽	6.11. 3		1	26	96
器楽 合唱	6.11. 4	シンフォニアテクノロジー 響ホール伊勢（観光文化会館）	10 12	247 242	636 469
洋舞 舞台芸能	6.11.10	伊勢市生涯学習センター いせトピア	6 2	117 25	379
洋舞	6.11.17	シンフォニアテクノロジー 響ホール伊勢（観光文化会館）	13	291	838
邦舞	6.11.24		13	126	362
計	-	-	71	1,294	3,211

カルチャーフェスティバルの開催

伊勢市文化協会との共催による体験講座を開催し、気軽に文化芸術を楽しめる機会を提供した。

- ・開催期間 令和6年7月11日～8月25日
- ・講座内容 合唱、箏、バレエ等
- ・会 場 伊勢市生涯学習センターいせトピア、尾崎弔堂記念館、賓日館
- ・参加者数 16講座 177人

民謡踊り大会の開催

伊勢市文化協会との共催による民謡踊り大会を開催し、伊勢音頭や民踊を楽しめる機会

を提供した。

- ・日 時 令和6年8月23日（金）午後7時～午後9時
- ・会 場 伊勢市生涯学習センターいせトピア 多目的ホール
- ・参加者数 約70人

市民交流茶会の開催

普段、茶道になじみのない人にも気軽にお茶会を楽しんでいただくことを目的とした、「市民交流茶会」を伊勢茶道協会との共催により開催した。

- ・日 時 令和6年12月1日（日）午前9時30分～午後2時
- ・会 場 山田奉行所記念館
- ・参加者数 93人

伊勢市美術展覧会の開催

伊勢市及び近隣市町の文化芸術（美術分野）の振興を図るため、第70回伊勢市美術展覧会をシンフォニアテクノロジー響ホール伊勢（伊勢市観光文化会館）で開催した。

なお、美術展覧会の開催業務は、観光文化会館の指定管理者へ委託している。

- ・部 門 5部門 絵画、彫刻・工芸、写真、書、グラフィックデザイン
- ・開 催 日 令和6年10月22日～10月27日（6日間）
午前9時～午後5時

10月25日は午後7時、最終日は午後3時30分まで

- ・出品点数 244点
- ・表 彰 市長賞、市議会議長賞、教育長賞、神宮司庁賞、岡田文化財団賞、
ケイミックスパブリックビジネス賞、奨励賞を贈呈した。
- ・観覧者数 2,522人
- ・運営委員会

（ア）概 要

	開催日	協議内容等
第1回運営委員会	6. 5.20	・第70回伊勢市美術展覧会の開催要項（案）及び募集要項（案）について ・審査委員の選定方法について ・広報活動について ・第70回記念事業について ・同時開催展示について ほか
第2回運営委員会	6.11.25	・第70回伊勢市美術展覧会の開催結果等の報告 ・第71回伊勢市美術展覧会の開催について ・運営委員の選定について ほか

（イ）委員数 8人（任期2年）

- ・同時開催展示 伊勢市美術展覧会の開催に合わせて同館ホワイエで「伊勢百景」～古野新生の描く伊勢～と三重県障がい者芸術祭受賞作品展～だれもが

輝ける あしたへ～を開催した。

- ・第70回記念事業 三重県立美術館友の会により三重県立美術館美術セミナーを開催した。

開催日	講師	内容	人数
6.10.26	道田美貴	第70回伊勢市美術展覧会にちなんで —最初期の伊勢市展をひもとく—	人 55

イ 次世代のための文化芸術推進事業

文化芸術体験講座の開催

子どもたちに芸術・文化活動の楽しさや素晴らしさを知る機会を提供することで、豊かな心と感性を育み、次世代に文化を継承するための体験講座を開催した。この講座は、市内の文化団体が各小中学校へ出向く、出前講座方式で行っている。

- ・開催期間 令和6年9月10日～令和7年3月18日
- ・講座内容 箏、尺八、三味線、ヒップホップダンス、フラダンス、バレエ、いけばな、折り紙、合唱、茶道、書道、土器、料理
- ・参加者数 16校 111講座 2,791人

世界に発信！伊勢市短詩型文学祭の開催

日本の伝統的な文芸の形式である短歌・俳句を用い表現することで、未来を担う子供たちが日本の伝統的な短詩型文学に触れ、同時に市の魅力を世界に発信することを目的に、小・中学生を対象に短歌・俳句の作品募集を行い、表彰及び展示を行った。

また、最優秀作品については、海外からの観光客に伊勢の観光スポットなどを知ってもらえるように英訳したポスターを作成し、公共施設等に掲示するとともに、市ホームページ及び伊勢市観光協会ホームページに掲載し、情報発信した。

- ・募集期間 web受付分 令和6年7月1日～9月1日
学校提出分 令和6年7月1日～9月6日
- ・応募作品 1,988点（短歌 408点、俳句 1,580点）
- ・応募者数 1,157人（小学生 903人、中学生 254人）
- ・表彰式 令和6年11月30日 伊勢図書館
- ・作品展示

展示場所	展示期間
伊勢図書館 2階ロビー	6.11.30～ 6.12.23
ミタス伊勢 中央通路	7. 2.13～ 7. 2.27

「楽しくいせの文化と歴史を学ぼう！」（夏休み博物館イベント）の実施

子どもたちが博物館を訪れ、地域の文化や歴史を学ぶ機会として、文化施設の指定管理者等と連携した事業を次のとおり実施した。

実施施設	開催日	実施内容	参加者数
賓日館	6. 7. 20 ~ 6. 9. 1	夏休み子どもチャレンジ	人 90
	6. 7. 20 ~ 6. 8. 31	昔のお道具展	101
山田奉行所記念館	6. 7. 25 ~ 6. 8. 25	中村末吉さん船模型作品展	522
	6. 7. 28	キッズフェア	9
	6. 8. 21	こども茶会	12
尾崎弔堂記念館	6. 8. 3	子ども弔堂講座 「弔堂 この人を知ろう」	6
古市参宮街道資料館	6. 8. 3	古市の歴史を学ぼう	1
伊勢河崎商人館	6. 8. 18	昔の道具を見て、触れて、使ってみよう	4

「伊勢ぶんか学習帳」の作成

子どもたちが伊勢の歴史・文化・伝統を親しみやすく学ぶための啓発物品として、ショウワノート株式会社とコラボレーションし、市オリジナルの「伊勢ぶんか学習帳」を作成した。

【表紙・表紙側紹介ページ】

表紙は朝熊登山鉄道（朝熊山ケーブルカー）の写真を掲載し、表紙見返しからは朝熊山ケーブルカーと金剛證寺の歴史を紹介した。

【裏表紙・裏表紙側紹介ページ】

裏表紙に、伊勢の路面電車の写真を掲載し、紹介ページには昭和初期の絵図とともに昔の交通網について紹介した。

- ・数 量 10,000部作成（B5版）横罫ノート
- ・配布時期 令和6年12月より配布
- ・配布先 伊勢市内中学校1年生～3年生

伊勢市転入者に対する市内博物館施設無料入館取組の実施

本市へ転入された方に対して、賓日館、伊勢河崎商人館、尾崎弔堂記念館へ無料で入館できるチケットを配布した。また、令和6年7月20日より、伊勢市LINE公式アカウントを活用したデジタルクーポンの利用も可能とした。

伊勢市民に対する市内博物館施設無料入館取組の実施

市民（本市に住所を有しかつ居住する者）を対象に、本市の魅力を再発見してもらうことを目的として、賓日館、伊勢河崎商人館、尾崎弔堂記念館の入館料を無料とする取組を以下のとおり実施した。

- ・期 間 令和6年7月20日～8月31日
- ・利用方法 令和6年広報いせ7月15日号に掲載した記事を対象者が上記施設の受付で

提示、または伊勢市LINE公式アカウントを活用したデジタルクーポンを受付で提示する。

ウ 文化公演事業

芸協らくご・伊勢おかげ寄席の開催

平成31年1月21日に（公社）落語芸術協会と締結した「伊勢市における文化芸術鑑賞機会の拡大に関する協定書」に基づき寄席公演を開催した。

- ・開催日時 令和6年11月19日、20日
開演 午後6時30分 終演 午後8時45分
- ・出演者 春風亭昇太さん、桂宮治さん、桂文治さん ほか
- ・開催場所 伊勢市ハートプラザみその 多目的ホール
- ・観覧者数 522人（内訳：11月19日229人、11月20日293人）
- ・観覧料 前売2,700円 当日3,000円 高校生以下（前売・当日共）1,000円
2日間通し券5,000円

学校らくごの開催

今後の伊勢市を担う児童に伝統文化に興味を持ってもらうきっかけ作りを目的に、市内小中学校に希望を募り落語講座を実施した。

- ・開催日時 令和6年11月20日 午前10時30分～11時30分
- ・講師 桂竹千代さん
- ・開催場所 中島小学校 体育館
- ・講座内容 落語における仕草表現の体験を交えて、伝統芸能である落語を楽しく鑑賞するためのプログラム。

エ 連携事業

市民ふれあいスポカルウォークの開催

スポーツと文化（カルチャー）を合わせたウォーキングを開催し、地域に残る文化資産等を巡った。この事業は、スポーツ課と連携して実施している。

開催日	内容		参加者数
6. 4. 28	第1回	「塩のみちを行く」二見町コース (御塩殿神社・御塩焼所・御塩浜)	人 95
6. 6. 2	第2回	「参宮街道を歩く」宮川・浦口コース (宮川堤・茶屋町の道標・山田傘)	92
6. 9. 29	第3回	「古市街道と五輪塔」古市町コース (大五輪の五輪塔・寂照寺・麻吉旅館)	86
6. 11. 4	第4回	「造船の町を偲ぶ」大湊町コース (旧市川造船所・大湊波除堤・弥栄の松)	104
7. 3. 2	第5回	「山田奉行所と臥竜梅」御園町コース (山田奉行所記念館・臥竜梅・船蔵跡)	102

(2) アクティブ・アート推進事業

観光誘客課が実施したクリエイターズ・ワーケーション促進事業に参加したクリエイターや地元で活躍する作家等と連携し、「伊勢市クリエイターズエキシビション 2024」と題して、以下のとおり作品展示会等を開催した。

金子未弥 ワークショップ&公開制作・作品展示「ではまた、満月の日に。」

金子未弥さん（現代美術作家）による、月をテーマにしたワークショップと公開制作、作品展示を行った。

【ワークショップ&公開制作】

- ・期 間 令和6年11月1日～4日 午前9時～午後5時（最終入館午後4時30分）
- ・場 所 賓日館 旧客室（うめの間）

【作品展示】

- ・期 間 第1期：令和6年11月13日～20日、第2期：令和6年12月11日～18日
午前9時～午後5時（最終入館午後4時30分）
- ・場 所 賓日館 寿の間

「みてふれてたのしむ匠の技展」

伊勢の様々な伝統工芸に携わる人々が集う「伊勢の匠会」と連携し、「触って楽しめる伝統工芸」をテーマに、鑑賞者が展示品に触れることができる伝統工芸品の作品展を開催した。

- ・期 間 令和7年2月1日～3月2日 午前10時～午後5時
- ・場 所 外宮参道ギャラリー（伊勢市本町6-4 シャレオサエキビル2階）
- ・出品者 伊勢和紙（大豊和紙工業）、伊勢一刀彫（岸川行輝）、木漆工芸（野嶋峰男）、伊勢根付（中川忠峰）、和釘（久住商店）、漆塗り（伊勢飄さおり）、伊勢組刺し（西川佐恵子）、神棚・神具（西口神具店）
- ・サテライト展示

期間	場所	出品
7. 2. 1～ 7. 3. 2	パン屋 麦	木漆工芸、伊勢一刀彫、伊勢和紙
7. 2. 3～ 7. 3. 2	FOLK FOLK COFFEE	木漆工芸、伊勢一刀彫、伊勢和紙、伊勢組刺し

(3) 全市博物館構想事業

平成20年に策定した「伊勢市全市博物館構想」は、市域を屋根のない巨大な博物館と捉えて博物館や文化資産を収蔵品とみなし、一体のものとして有効活用を図ることを目的としている。

- ・伊勢まるごと博物館マップの作成・配布等

博物館を紹介するとともに、点在する文化資産を記したマップを作成し、各博物館や観光案内所等で配布した。「博物館スタンプラリー」を実施し、3か所以上の施設を巡った人に

は記念品を贈呈した。また、令和6年7月20日より伊勢市LINE公式アカウントを活用したデジタルスタンプラリーも開始した。

・情報発信

博物館13館の企画展示や催し物情報、臨時休館日や季節に応じた見どころ等を月単位でまとめ、「今月の伊勢まるごと博物館」として市ホームページで紹介した。

(4) 「伊勢ぶんかネット」の配信

伊勢市を拠点に活動する文化団体をサポートするため、国や県等の公的機関による助成事業や登録団体が主催するイベント等の情報をEメールやファックス、伊勢市LINE公式アカウント等を利用して、毎月1回配信した。また、市の後援事業等の情報を市ホームページにより周知した。

・登録団体数 136団体(令和7年3月31日時点)

・配信回数 17回(令和7年3月31日時点)

2 全国大会等参加激励事業

文化芸術分野の全国規模以上の大会に出場する者に激励金を交付した。

大会名	交付人数	交付金額
第42回全日本珠算技能競技大会	人 1	円 10,000
そろばんグランプリジャパン2024	1	10,000
第48回文部科学大臣杯全国高校囲碁選手権大会	2	20,000
第48回全国高等学校総合文化祭(囲碁部門)	2	20,000
第48回全国高等学校総合文化祭(写真部門)	3	30,000
第36回全国高等学校情報処理競技大会	2	20,000
第78回全日本アマチュア将棋名人戦	1	10,000
第39回国民文化祭 民謡・民舞の祭典	6	60,000
第14回くらしき吉備真備杯こども棋聖戦全国大会	2	20,000
第18回声楽アンサンブルコンテスト全国大会	15	150,000
計	35	350,000

3 文化財保護事業

(1) 指定無形民俗文化財等保存継承事業補助金

伊勢市内で伝承されている指定無形民俗文化財等の連綿とした保存継承を支援するため、保存継承団体が行う後継者育成事業、備品整備事業、記録作成事業、普及宣伝事業、保存維持事業に対して補助を行っている。令和6年度は23団体中18団体に補助金を交付した。

(2) 文化財保護審議会

文化財の保存及び活用に関する重要事項を調査審議する機関として設置している。令和6年度は審議会の開催はなかった。

〔委員数〕9人(任期：令和6年10月1日～令和8年9月30日)

(3) 文化財の指定等

市にとって重要な文化財を指定し、将来の文化的発展の基礎をなすものとして保護する。
令和 6 年度は新規指定等の該当はなかった。

(4) 文化財保存整備事業

指定文化財等の適正な保存管理を図るため、下記事業に対して補助金を交付した。

ア 国史跡離宮院跡環境整備事業

- ・ 名称 離宮院跡
- ・ 種別 国指定史跡
- ・ 所在地 小俣町本町
- ・ 所有者（補助事業者） 官舎神社氏子総代会
- ・ 実施期間 令和 6 年 4 月19日～令和 6 年10月21日
- ・ 事業内容 残存する土塁など遺跡のある環境を整備した。
- ・ 事業費 356,994円(市補助155,000円、所有者201,994円)

イ 弥栄の松 病害対策事業

- ・ 名称 弥栄の松
- ・ 種別 市指定天然記念物
- ・ 所在地 大湊町1062 - 6
- ・ 所有者（補助事業者） 日保見山八幡宮
- ・ 実施期間 令和 6 年 5 月24日～令和 7 年 3 月31日
- ・ 事業内容 「すす葉枯病」の治療のため、殺菌剤散布により樹勢回復を図った。
- ・ 事業費 174,900円(市補助87,000円、所有者87,900円)

ウ 一色能能面等保管室空調設備更新工事

- ・ 名称 能楽(能面・能衣装)
- ・ 種別 市指定無形民俗文化財
- ・ 所在地 一色町
- ・ 所有者（補助事業者） 一色町能楽保存会
- ・ 実施期間 令和 7 年 1 月16日～令和 7 年 3 月31日
- ・ 事業内容 能面・能装束及び小道具類等の保管室の空調設備を更新した。
- ・ 事業費 434,500円(市補助217,000円、所有者217,500円)

(5) 二見浦保存活用事業

ア 保存管理

平成18年 7 月28日に国名勝に指定された「二見浦」について、平成21年度に策定した保存管理計画に基づき、適切な保存管理を行うものである。

令和 6 年度は、保存管理計画運営委員会の開催はなかった。

〔委員数〕 5 人（任期：令和 6 年10月 1 日～令和 8 年 9 月30日）

イ 保存活用計画の作成

名勝二見浦の保存・活用の方向性や方法を検討するため、保存活用計画の作成を行った。計画作成にあたっては、学識経験者で構成した保存活用計画策定委員会による調査審議を行った。

- ・実施期間 令和6年4月1日～令和7年3月31日
(全体の実施期間は令和8年3月24日まで)
- ・事業費 3,937,500円(国補助1,000,000円、県補助140,000円、市2,797,500円)
- ・事業内容 保存活用計画の作成、保存計画策定委員会及び庭園部会の開催(計3回)
- ・委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
伊勢市内	(注) 国名勝二見浦 保存活用計画 策定業務委託	保存活用計画作成、 委員会の運営支援等	円 3,586,000 【契約額】 7,029,000 [令和6年度] 3,586,000 [令和7年度] 3,443,000	6.8.20	8.3.24

(注)債務負担行為

(6) 旧豊宮崎文庫整備活用事業

大正12年3月7日に国史跡に指定された「旧豊宮崎文庫」について、桜の時期に合わせ令和7年3月22日から4月9日に一般公開をし、2,241人が来場した。

ア 普及関係

旧豊宮崎文庫と市天然記念物オヤネザクラの概要と文化財保護の大切さを知ってもらうために史跡見学会を開催した。

開催日	講師	開催場所	開催時間	参加者数
7.3.29	職員	旧豊宮崎文庫	10:00 ~ 12:00	人 10
7.3.30	樹木医 中村昌幸 氏 職員	旧豊宮崎文庫	10:00 ~ 12:00	18

(7) 文化財案内板設置事業

市内の指定文化財や史跡等を周知するため、文化財案内板を設置している。令和6年度は、外国人観光客に対応するため、既設案内板3件の解説文を英訳し、読み取り二次元バーコードステッカーを貼付した。

(8) 賓日館保存事業

賓日館は市が所管する文化財(国の重要文化財)であり、適切に保存していくための取組を行った。

ア 保存活用計画の作成

建造物の現状や課題を把握し、保存と活用を図るための計画を作成した。計画作成にあたっては、学識経験者で構成した保存活用計画策定委員会による調査審議を行った。

・実施期間 令和6年4月1日～令和7年3月28日

(全体の実施期間は令和5年6月21日から令和7年3月28日まで)

・事業費 6,145,925円(国補助3,379,000円、県補助430,000円、市2,336,925円)

・事業内容 保存活用計画作成、保存活用計画策定委員会の開催(3回開催)

・委託関係

施行場所	委託名	委託概要	金額	着手	完了
二見町 茶屋地内	(注) 重要文化財旧賓日 館保存活用計画策 定業務委託	調査等業務、保存 活用計画策定、委 員会の運営支援、 報告書作成	円 5,808,000 【契約額】 12,980,000 [令和5年度] 7,172,000 [令和6年度] 5,808,000	5. 6.21	7. 3.28

(注) 債務負担行為

イ 工事関係

建物等の維持管理のために修繕工事等を施行した。

施行場所	工事名	工事概要	金額	着工	完工
二見町茶屋 地内	賓日館各所 応急修繕工事	戸袋等修繕一式	円 475,200	6. 7.19	6. 8.20
〃	賓日館本館 屋根瓦補修工事	屋根瓦等補修一式	470,820	7. 2.10	7. 3. 7

ウ 賓日館VR博物館の制作

賓日館の歴史的価値を市民や観光客に伝えるため、賓日館のVR空間を制作して3Dパノラマビューを公開した。

・公開開始 令和6年10月1日

【主な実装内容】

- ・建物内観および外観と庭園の360度3Dパノラマビュー
- ・解説(一部英語)や画像、動画などのタグを配置
- ・デジタルヒューマンによる日本語と英語での解説

(9) 伊勢うどん魅力発信事業

伊勢うどんを地域の貴重な文化資源として再認識し、市内外の関心を高めて、さらなる振興と継承につなげることを目的とした取組を行った。

令和6年度は、文化庁の100年フードに応募し、「伝統の100年フード部門～江戸時代から

続く郷土の料理～」として認定された。

・認定日 令和7年3月14日

4 郷土資料収蔵施設管理運営事業

市が所蔵する歴史的資料等は、松下倉庫と旧沼木中学校校舎を収蔵施設としており、より良い資料保存環境づくりに努めている。また、外部への郷土資料の貸出しも行っている。

5 郷土資料館整備事業

当市の歴史文化に対する理解を深め、広く情報発信するための郷土資料館を整備するための取組を行った。

ア 基本構想・基本計画

新たな郷土資料館の基本理念や基本方針を整理し、事業活動や展示内容等の考え方を整理するための計画を策定した。計画作成にあたっては、学識経験者で構成した基本構想・基本計画策定委員会を設置し、調査審議を行った。

・実施期間 令和6年4月1日～令和6年8月31日

(全体の実施期間は令和5年12月19日から令和6年8月31日まで)

・策定日 令和6年8月9日

・事業内容 基本構想・基本計画作成、委員会の開催(2回開催。令和5年度は4回開催。)

・委員数 7人(任期:令和5年12月19日～令和6年8月31日)

・委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊勢市内	(注) (仮称)伊勢市郷土資料館基本計画策定業務委託	計画策定支援、委員会運営補助、計画書(案)作成	円 14,388,000 【契約額】 14,388,000 [令和5年度] 0 [令和6年度] 14,388,000	5.12.20	6.8.30

(注)債務負担行為

イ 展示基本設計・実施設計

基本構想・基本計画に基づき、展示基本・実施設計を行った。

・実施期間 令和6年9月4日～令和7年3月24日

・業務内容 基本設計・実施設計

・委託関係

施行場所	委 託 名	委 託 概 要	金 額	着 手	完 了
伊勢市内	(仮称)伊勢市郷土資料館展示基本・実施設計業務委託	基本設計・実施設計	円 31,240,000	6.9.4	7.3.24

6 企画展開催事業

郷土の歴史文化のなかから特定のテーマを設定し、企画展を開催した。

名 称	開催場所	開催期間	入場者数
伊勢の南画～文人サークルの外縁～	賓日館	6.11. 2～ 6.12. 1	人 2,172

7 古市資料館管理運営事業

古市参宮街道ゆかりの資料（妓楼・古市歌舞伎・岩城万金丹・画僧月僊関係等）を展示公開している。また、常設展示を補完するとともに、来館者の継続的な確保を図るため、企画展を開催した。

平成18年9月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 伊勢古市参宮街道資料館運営委員会
- ・指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）

（1）企画展の実施

企 画 展 名	開 催 期 間	入館者数
図録「神都画人」刊行記念（前期）	6. 4. 2 ～ 6. 4.29	人 448
図録「神都画人」刊行記念（後期）	6.10. 1 ～ 6.11. 4	432

（2）入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	日 25	27	26	26	27	25	27	26	24	24	23	25	305
入館 者数	人 448	310	230	158	141	238	353	308	303	433	307	356	3,585

（3）2階研修室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	回 45	45	52	45	41	46	48	46	41	40	43	47	539
利用 者数	人 379	325	428	341	292	343	338	408	309	312	345	422	4,242

8 伊勢河崎商人館管理運営事業

江戸時代に「伊勢の台所」として栄えた河崎の代表的な商家を資料館として活用し、当時の暮らしを支えた商業や生活に関する資料を展示公開している。

なお、施設建造物のうち12件は、平成13年に国の登録有形文化財に登録されている。

平成18年9月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 特定非営利活動法人伊勢河崎まちづくり衆
- ・指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）

（１）入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	日 25	26	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	307
入館 者数	人 392	490	303	270	322	467	414	482	366	296	484	589	4,875

（２）貸室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	回 4	3	4	6	9	3	8	9	6	7	3	10	72
利用 者数	人 24	20	26	51	107	19	76	122	80	63	45	137	770

（３）工事関係

施設の安全な運営のため、諸設備の修繕工事等を施行した。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
河崎2丁目 地 内	伊勢河崎商人館誘導 灯更新	誘導灯更新一式	円 234,300	6. 5.31	6. 7.12
〃	伊勢河崎商人館式の 蔵出格子修繕工事	出格子修繕一式	693,000	6. 5.31	6. 7.12
〃	伊勢河崎商人館まち かど館前側溝蓋更新	側溝蓋更新一式	125,400	6. 6.27	6. 7.26
〃	伊勢河崎商人館角吾 座雨漏修繕	雨漏修繕一式	495,000	6. 7.10	6. 8.19
〃	伊勢河崎商人館主屋 二階畳替修繕	畳替一式	284,900	7. 2.13	7. 2.19
〃	伊勢河崎商人館主屋 通路雨漏修繕工事	雨漏修繕一式	275,000	7. 2.28	7. 3.21

9 尾崎弔堂記念館管理運営事業

我が国の憲政史上に不滅の功績を残し、世界平和の取組に尽力した尾崎弔堂に関する資料を展示公開している。また、常設展示を補完するとともに、来館者の継続的な確保を図るため、企画展を開催した。

平成22年4月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 特定非営利活動法人号堂香風
- ・指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）

（１）企画展の実施

企 画 展 名	開 催 期 間	入館者数
少年尾崎行雄と伊勢	6. 8. 3～ 6. 8.31	人 146
尾崎行雄と選挙	7. 3. 1～ 7. 3.30	65

（２）入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	日 25	27	26	26	27	25	26	26	22	24	24	26	304
入館 者数	人 99	282	40	91	146	83	91	186	9	49	67	65	1,208

（３）２階会議室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	回 33	41	37	41	31	35	43	44	33	31	34	34	437
利用 者数	人 391	705	486	777	521	514	552	681	532	478	519	807	6,963

（４）工事関係

施設の安全な運営のため、諸設備の修繕工事等を施行した。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
川端町地内	（注） 尾崎号堂記念館雨水 排水用配管取付工事	排水管 33m 舗装 29m ² 宅地柵 4基	円 990,000	6.10.29	6.12.27
〃	尾崎号堂記念館歩道 舗装工事	歩道舗装一式	484,000	7. 2. 6	7. 3.10
〃	尾崎号堂記念館展示 室ショーケース照明 器具取替等修繕	ショーケース照明器具 取替等修繕一式	198,000	7. 2.14	7. 2.27

（注）農林水産課施行

10 山田奉行所記念館管理運営事業

江戸幕府が主要都市に設置した遠国奉行を今に伝える数少ない資料館として、山田奉行所に関する資料を展示公開している。また、常設展示を補完するとともに、来館者の継続的な確保を図るため、企画展を開催した。

平成27年4月から指定管理者制度を導入し、管理業務を行っている。

【指定管理者】

- ・管理者名 山田奉行所記念館友の会
- ・指定期間 令和2年4月1日～令和7年3月31日（5年間）

（１）企画展の実施

企 画 展 名	開 催 期 間	入館者数
中村末吉さん船模型作品展	6. 7.25～ 6. 8.25	人 528
山田奉行の足跡（２）	7. 3. 1～ 7. 3.31	506

（２）入館者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
開館 日数	日 25	27	26	26	27	26	26	26	24	24	24	27	308
入館 者数	人 356	298	324	528	474	409	306	829	342	324	362	506	5,058

（３）貸室利用回数・利用者数

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
回数	回 8	5	8	7	6	9	6	10	8	6	11	6	90
利用 者数	人 113	29	170	153	31	188	74	71	134	96	185	36	1,280

（４）工事関係

施設の安全な運営のため、諸設備の修繕工事等を施行した。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
御園町上條 地 内	（注） 山田奉行所記念館主屋 外壁等塗装工事	外壁等塗装改修一式	円 2,978,800	6.12.24	7. 3. 6
〃	山田奉行所記念館弓の 間雨戸箱修繕	雨戸箱修繕一式	162,800	7. 1. 9	7. 1.22

（注）営繕課施行

11 観光文化会館管理運営事業

市民の様々な文化活動を支援するための施設として、ホールや会議室等の貸館のほか、質の高い文化芸術の鑑賞機会の提供等の取組を行った。

平成18年4月から指定管理者制度を導入している。

【指定管理者】

- ・管理者名 株式会社 ケイミックスパブリックビジネス
- ・指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日（5年間）

（１）自主事業

伊勢市観光文化会館の設置目的を達成するため指定管理者自ら企画実施する自主事業（鑑賞型や参加型の公演事業）を計画した。

区分	主な事業名	実施件数	入場者数
鑑賞型事業	ORANGE RANGE LIVE TOUR 024 ～タコス DE ピタゴラス～	11 件	7,874 人
普及型事業	新日本フィルハーモニー交響楽団メンバーによる プレミアムクリニック付きコンサート	7	1,032
参加型事業	夏祭り！みんなの広場	9	1,274
計		27	10,180

（２）工事関係

会館の安全な運営のため、建物や設備について改修工事等を施行した。

施行場所	工 事 名	工 事 概 要	金 額	着 工	完 工
岩淵1丁目 地 内	伊勢市観光文化会館インフォメーションディスプレイ設置工事	インフォメーションディスプレイ設置一式	円 1,276,000	6.12.18	7. 1.31
〃	伊勢市観光文化会館懸垂幕用照明改修工事	照明設備改修一式	979,000	7. 1.10	7. 1.28
〃	伊勢市観光文化会館エントランス改修工事	エントランス改修一式	924,000	7. 1.15	7. 2.13

（３）ネーミングライツ

新たな財源を確保し、施設の運営及び維持管理等の財源に充てるため、ネーミングライツ制度を導入している。

- ・対象施設 伊勢市観光文化会館
- ・愛 称 シンフォニアテクノロジー響ホール伊勢
- ・命名権者 シンフォニアテクノロジー株式会社
- ・命名権料 年額500万円（税込み）
- ・契約期間 平成29年4月1日～令和19年3月31日（20年間）

当初契約は10年間であったが、命名権者より申し出があったため更新を行った。

○ 外部人材の活用 (款) 2 . 総務費 (項) 1 . 総務管理費 (目) 4 . 人材育成推進費

1 外部人材活用事業

(1) 歴史的建造物の活用アドバイザーの招へい

総務省が実施する地域活性化起業人制度等を活用し、民間の外部人材を一定期間受け入れた。賓日館などの歴史的建造物の利活用について助言をもらい、今後の公開活用への参考とした。

アドバイザー	業務内容	人数	金額
他力野 淳 (バリューマネジメント株式会社)	歴史的建造物の活用及び歴史的建造物の観光資源としての周知・活用に関する助言・指導	人 1	円 707,564

(注) 職員課から執行委任